

一般社団法人郡山市観光協会 令和 8 年度第 1 回DMO推進委員会 会議内容

日 時：令和 8 年 7 月 17 日（金）午前 10 時 00 分～午前 11 時 05 分

会 場：郡山市男女共同参画センター 1 階 研修室

出席者：別紙名簿のとおり

■観光地域づくり法人登録制度に関する新ガイドラインへの対応状況について

◇資料 1 のとおり

（意見等）特になし

■令和 7 年度 観光地域づくり法人事業報告書について

◇資料 2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、2-6 のとおり

（意見等）特になし

■令和 8 年度 DMO 推進委員会の活動計画及び観光地経営戦略策定の進め方について

◇資料 3-1、3-2、3-3、3-4 のとおり

（意見等）特になし

■各団体の状況について

◇資料 4 のとおり

（意見等）

〔郡山市観光協会 山口委員長〕

・イベント情報を一元的に共有できる仕組みが必要。同様のイベントが重複して開催され、参加者が分散するケースもあるため、ウェブサイトなどで情報を集約し、開催日程や重複状況を確認できるようにしたい。

→会員からイベント情報を事務局へ提供いただき、郡山市観光協会ウェブサイトの新着・イベント情報として掲載している。積極的に情報の集約・共有につなげたい。また、「広報こおりやま」のイベントカレンダーのように、一覧で分かりやすく見られる形式が望ましい。【事務局】

〔郡山酒造協同組合〕

・酒蔵を目的に来訪しても、飲酒後の交通手段が課題となっている。周遊や交通手段を含めた仕組みづくりを進め、お酒をテーマとしたイベントを実施できたらよい。

〔郡山ホテル協会〕

・今年度は、新たな誘客策の推進と人材育成を重点施策としている。対面営業は人手不足が課題であるため、ウェブサイト改修などによりオンラインセールスを強化し、マンパワー不足を補う対策を進める。また、人材確保や接遇教育を通じて、期待されるサービスやおもてなしを提供できる人材の育成に取り組む。

・人手不足や二次交通は全国共通の課題である。他地域の DMO や観光事業者の成功事例・失敗事例を継続的に収集・共有し、課題解決に活用できる仕組みが重要ではないか。他地域の DMO との情報共有は可能か。

→可能。情報共有を仕組み化することは重要である。県内 DMO が集まる会合なども活用し、情報共有や連携の強化についても要望していきたい。【事務局】

[福島県県中地方振興局企画商工部]

・ビッグパレットふくしまは駐車場約 800 台を有するが、施設規模に対しては不足しており、一般的には収容人数に対し約 1.5 倍程度の駐車場が必要とされる。土日は県合同庁舎の駐車場を無料開放しており、200～300 台程度の追加確保が可能である。しかし、大規模イベントは年 3 回程度のため、現状では大きな支障はないと考えている。

・来春のアフターデスティネーションキャンペーン（以下「DC」という。）に向けた取組を検討している。また、早稲田大学の学生との交流では、福島県を訪れた学生の多くが会津やスパリゾートハワイアンズを目的地としており、中通りを訪れた学生はいなかった。郡山市が最終目的地や周遊先として選ばれるための魅力づくりが課題である。さらに、須賀川市はウルトラマン、田村市はあぶくま洞、三春町は三春滝桜など、各市町村で観光資源を生かした誘客に取り組んでいる。これらを広域的に連携させ、郡山を起点・周遊先として選んでもらえる仕組みづくりを進めたい。

[東日本旅客鉄道株式会社福島事業本部]

・DC 本番は終了したが、来年度のアフターDC に向けた取組を進める。組織改編により福島事業本部の拠点が郡山市となるため、中心となって取り組んでいく。また、DC で終わらせるのではなく、DC 後も福島魅力を継続的に発信していくことが課題である。

■その他

[郡山市観光協会]

・別紙の京都のオーバーツーリズムに関する事例のように、思い込みではなく、正確なデータ収集・分析に基づく観光施策が重要である。また、来年の大河ドラマ『逆賊の幕臣』で安積良斎が取り上げられることを契機に、郡山市ならではの地域資源を生かしたオンリーワンの観光コンテンツ造成が必要である。

[郡山商工会議所]

・ビールまつりでは、昨年は 3 日間で約 7 万人が来場。今年は、なかまち夢通りに有料席を設けるなど新たな取組を実施する。また、うねめまつりでは、片平の 10 尺太鼓の復活やフォトスポットの設置など、新たな企画を実施し、来場者による情報発信の促進を図る。両イベントの開催に伴う交通規制について、別紙により周知・案内を行う。

一般社団法人郡山市観光協会

令和8年度 第1回DMO推進委員会

次 第

日 時 令和8年7月17日（金）
午前10時00分

場 所 郡山市男女共同参画センター
1階 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 内 容

- （1）観光地域づくり法人登録制度に関する新ガイドラインへの対応状況について
- （2）令和7年度 観光地域づくり法人事業報告書について
- （3）令和8年度 DMO 推進委員会の活動計画及び観光地経営戦略策定の進め方について
- （4）各団体の状況について

4 そ の 他

5 閉 会

配付資料一覧

P1 資料 1 観光地域づくり法人登録制度に関する新ガイドラインへの対応状況

P3 資料 2-1 法人概要

P7 資料 2-2 事業計画書（令和 7 年度）

P11 資料 2-3 事業報告書（令和 7 年度）

観光庁に年度報告として提出する書類

P25 資料 2-4 登録要件充足確認書

P33 資料 2-5 プロフィール

P35 資料 2-6 合意形成の仕組みとしての会議体の構成員名簿

P37 資料 3-1 令和 8 年度 DM0 推進委員会の活動計画

P39 資料 3-2 観光地経営戦略で定める項目一覧

P41 資料 3-3 専門家派遣事業の概要（観光庁資料）

P43 資料 3-4 観光地経営戦略策定における「観光庁 専門家派遣事業」活用
について

P45 資料 4 事前確認書 団体別回答一覧

一般社団法人郡山市観光協会DMO推進委員名簿

令和8年7月現在

No.	役職	団 体 名	職 名	氏 名	出欠	備考
1	委員長	一般社団法人郡山市観光協会	副会長	山口 哲蔵	出席	
2	副委員長	一般社団法人郡山市観光協会	常務理事 兼事務局長	伊坂 透	出席	委員変更
3	委員	一般社団法人磐梯熱海温泉観光協会	理事兼企画委員長	丹治 亮	代理出席	代理出席者 事務局長 阿部 雅徳
4	委員	郡山商工会議所	開発事業部長	宗像 健雄	出席	
5	委員	東日本旅客鉄道株式会社 福島事業本部	副長	臼沢 祐子	出席	委員変更
6	委員	福島交通株式会社 郡山支社	乗合営業課長	磯貝 憲一	出席	
7	委員	郡山地区ハイヤータクシー協同組合	理事長	西條 勝敏	欠席	
8	委員	郡山地区商工会広域協議会	事務局長	須釜 正晃	欠席	
9	委員	郡山ホテル協会	理事	上杉 健	代理出席	代理出席者 代表理事 道下 和幸
10	委員	郡山市旅館ホテル組合	副組合長	西間木 渉	代理出席	代理出席者 事務局長 長濱 晃明
11	委員	郡山飲食業組合	組合長理事	藤原 賢一	出席	
12	委員	公益財団法人郡山コンベンションビューロー	総務企画課長	佐藤 良秋	出席	委員変更
13	委員	郡山美味しい街づくり推進協議会	副会長	小平 一夫	出席	
14	委員	公益財団法人郡山市観光交流振興公社	総務課長	七海 重浩	欠席	
15	委員	福島さくら農業協同組合 郡山統括センター	統括部長	関口 純	欠席	
16	委員	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社	事務局長	三瓶 尚久	欠席	
17	委員	特定非営利活動法人 まざっせKORIYAMA	理事長	宮川 雄次	欠席	
18	委員	郡山酒造協同組合	理事長	仁井田 穂彦	出席	
19	委員	福島県県中地方振興局企画商工部	部長	水野 賢一	出席	委員変更
20	委員	郡山市文化振興課	課長	熊田 重美	出席	委員変更
21	委員	郡山市スポーツ振興課	文化スポーツ観光部 次長兼課長	小松 信一	出席	委員変更
22	委員	郡山市観光政策課	課長	遠藤 英樹	出席	
23	委員	郡山市農業政策課	課長	矢吹 良樹	出席	委員変更
24	委員	郡山市農業生産流通課	農商工部次長兼課長	結城 弘勝	出席	委員変更

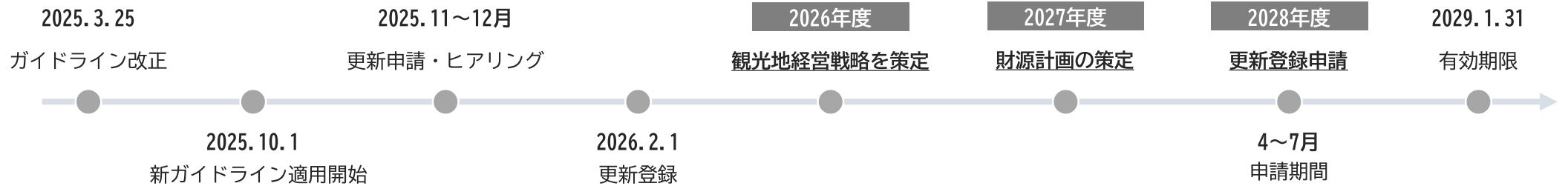
(一社) 郡山市観光協会 令和8年度第1回DMO推進委員会 座席表

観光協会		山口委員長	
農業生産流通課			磐梯熱海温泉観光協会
農業政策課			郡山商工会議所
観光政策課			東日本旅客鉄道
スポーツ振興課			福島交通
文化振興課			郡山ホテル協会
県中地方振興局	郡山酒造協同組合	美味しい街づくり推進協議会	コンベンションビューロー
		飲食業組合	旅館ホテル組合
事務局			

観光地域づくり法人登録制度に関する新ガイドラインへの対応状況

資料 1

郡山市観光協会の現状と次回更新登録までの流れ



1 郡山市観光協会のDMO登録状況

- ・登録区分：地域DMO
- ・対象区域：福島県郡山市
- ・更新登録日：2026年2月1日
- ・次回更新登録申請期間：2028年4月～7月
- ・現登録の有効期限：2029年1月31日
- ※登録は3年ごとに更新

2 ガイドライン改正の目的

- ・観光を持続可能にする(少子・高齢化、人不足)
- ・データで現状を把握する
- ・地域の強みを見える化して伸ばす
- ・関係者で方向性を共有して連携を深める
- ・観光の効果を地域へ伝える

3 ガイドライン改正で求められる主な対応

- ・観光地経営戦略の策定
- ・KGI・KPIの設定
- ・データ収集・分析の強化
- ・関係者との合意形成
- ・地域への効果の共有

令和8年度のDMO推進委員会では、次回更新登録に向けた「戦略づくり」と「合意形成」を進めます

2026年度 戦略づくり・合意形成

- ・DMO推進委員会を5回開催
- ・現状・課題、重点ターゲットを整理
- ・重点施策、KGI・KPI、連携内容を検討
- ・観光地経営戦略を策定
- ・実行計画を策定

2027年度 戦略と計画に基づく事業の実施

- ・財源計画の策定（安定財源確保率の設定）
- ・KGI・KPIの数値取得
- ・実行計画に沿った事業や施策を実施
- ・取得した数値や実施事項の成果を評価

2028年度 更新登録申請へ

- ・2028年4～7月に次回更新登録申請
- ・観光地経営戦略、実行計画、財源計画等を提出
- ・審査・ヒアリングを経て更新登録へ

法人概要

初回記入日： 2026年 7月 17日

最終更新日： 2026年 7月 17日

1. 観光地域づくり法人の組織の概要		
観光地域づくり法人の名称		一般社団法人郡山市観光協会
登録区分		地域DMO（単一市区町村）
マネジメント・マーケティング対象とする区域 ※地方自治体名を記入		福島県郡山市
所在地		福島県郡山市燧田195
設立時期		2017年4月3日
初回DMO登録日（新規登録の場合は空欄）		候補DMO 登録日 2017年11月28日 登録DMO 登録日 2020年1月14日
事業年度		4月1日から翌年3月31日までの1年間
職員情報	合計職員数（人）	9 人
	常勤職員数（人）	9 人
	常勤職員数のうち正職員数（人）	0 人
	常勤職員数のうち出向等の正職員以外（人）	9 人
	プロパー職員の平均在籍年数（年）	3 年
	平均年齢（歳）	41 歳
代表者 ※法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者。複数名いる場合は、本欄下部の非表示セルを表示して記入欄を追加してください。	役職名	会長
	氏名	菅野 豊
	専従・非専従の別	非専従
	出向・プロパーの別	その他
	出身組織名	株式会社栄楽館
	在籍年数（年）	4 年
	DMOでの活動につながる経歴・実績	（一社）日本旅館協会副会長やうつくしま観光プロモーション推進機構会長、磐梯熱海温泉旅館協同組合理事長等を歴任。令和3年9月より現職。観光産業の振興と地域経済の活性化のために様々な取り組みで成果を挙げている。
業務執行に関する責任者（COO：チーフ・オペレーティング・オフィサー）	氏名	伊坂 透
	専従・非専従の別	専従
	出向・プロパーの別	プロパー
	出身組織名	郡山市役所
	在籍年数（年）	0 年
	DMOでの活動につながる経歴・実績	郡山市役所で36年間勤務し、市民部長などを歴任。行政運営に加え、地域振興や観光関連施策にも携わり、関係者との調整・連携を推進してきた。行政経験、組織マネジメント力、地域とのネットワークを活かし、官民連携の推進および地域資源を活用した観光地域づくりの推進を担っている。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー）	氏名	松畑 順也
	専従・非専従の別	専従
	出向・プロパーの別	出向
	出身組織名	株式会社日本旅行
	在籍年数（年）	0 年
	DMOでの活動につながる経歴・実績	令和8年度に、(株)日本旅行から(一社)郡山市観光協会に派遣。事務局次長として従事し、事業戦略立案、旅行商品開発・商品化を行う。観光地域マーケティングについて高い知見と能力を持つ。

財務責任者（C F O：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）	氏名	坂井 俊之
	専従・非専従の別	専従
	出向・プロパーの別	出向
	出身組織名	郡山市役所
	在籍年数（年）	1 年
	DMOでの活動につながる経歴・実績	郡山市役所で15年間勤務し、令和 7 年度に観光政策課から(一社)郡山市観光協会に派遣。事務局課長として従事し、持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に関する検討を行う。

2. 各取組の主担当者（実務担当者）		
受入環境整備	部署名	事務局
	氏名	中釜 隆行
	専従・非専従の別	専従
	出向・プロパーの別	出向
	在籍年数（年）	0 年
データ分析とマーケティング戦略策定	部署名	事務局
	氏名	鈴木 るな
	専従・非専従の別	専従
	出向・プロパーの別	プロパー
	在籍年数（年）	0 年
プロモーション	部署名	事務局
	氏名	二瓶 沙希
	専従・非専従の別	専従
	出向・プロパーの別	プロパー
	在籍年数（年）	9 年
コンテンツの開発・強化	部署名	事務局
	氏名	松畑 順也
	専従・非専従の別	専従
	出向・プロパーの別	出向
	在籍年数（年）	0 年

3. 実施体制

※概要を記載のうえ、地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みがわかる図表等を挿入してください。

【実施体制の概要】

（一社）郡山市観光協会が母体となり、メンバーには、行政、商工、宿泊業者、飲食業者並びに交通事業者、観光施設、農業関係団体、商工業等、多様な関係者が参画する官民が密接に連携した運営を実施。

【実施体制図】

※DMO内の組織体制だけではなく、合意形成の仕組みに該当する会議体の体制もあわせて、わかりやすく記載してください。

4. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域DMOと重複する場合の役割分担
※広域連携DMO及び都道府県DMOは記載不要。

5. 記入担当者連絡先（問合せ窓口）	
担当者氏名	坂井 俊之
担当部署名	事務局
役職	事務局課長
郵便番号	963-8003
所在地	福島県郡山市燧田195 JR郡山駅2階
電話番号（直通）	024-954-8922
E-Mail	info@kanko-koriyama.gr.jp

6. 関係する都道府県・市区町村担当者連絡先	
都道府県・市区町村名	福島県郡山市
担当者氏名	山野辺 辰也
担当部署名	郡山市文化スポーツ観光部観光政策課
役職	
郵便番号	963-8601
所在地	福島県郡山市朝日1-23-7 本庁舎5階
電話番号（直通）	024-924-2621
E-Mail	kankou@city.koriyama.lg.jp

都道府県・市区町村名	福島県
担当者氏名	
担当部署名	福島県観光交流局観光交流課
役職	
郵便番号	960-8670
所在地	福島県福島市杉妻町2-16
電話番号（直通）	024-521-7287
E-Mail	tourism@pref.fukushima.lg.jp

令和 7 年度事業計画

1 郡山版DMO推進事業**(1) 郡山版DMOの推進**

◇「DMO推進委員会」の運営

多様な関係者が参画し、官民が連携し、マーケティングに基づく戦略の検討・事業展開に関する連絡調整や合意形成を行う。

(2) マーケティング事業

①「郡山市観光動向消費調査」（アンケート調査）【拡充】

旅行消費額、リピーター率、来訪者満足度等の調査をウェブアンケートで通年実施する。

②東北観光 DMP（データマネジメントプラットフォーム）の活用

(3) 広域連携推進事業

（一社）東北観光推進機構【広域連携DMO】、（公財）福島県観光物産交流協会【地域連携DMO】、福島県DMO連絡協議会、こおりやま広域観光協議会など、各種事業団体と連携した取り組みを推進する。

(4) 地域観光協会連絡会の開催

各地域観光協会との情報共有や相互連携のための「場づくり」を行う。

2 情報発信事業**(1) 観光協会ウェブサイト・SNS発信事業**

①ウェブサイト情報発信

◇会員情報発信事業

当協会の会員等が実施している各種イベントなどの旬の情報を集約・発信する。

◇花の名所LIVE映像配信事業

郡山市内7地点の桜の名所、1地点のヒマワリの名所のリアルタイムの開花情報を定点撮影映像により、協会ウェブサイトで配信する。

②SNSの活用による情報発信

SNS公式アカウント（Instagram、Facebook、X、LINE）により、自然や食、イベント等の情報を発信し、幅広い層へ本市の魅力を伝える。

◇SNSアンバサダー事業

外部の若者等 SNS 投稿者をアンバサダーとして認定し、各アンバサダーがそれぞれの目線で郡山の魅力を投稿し、優良な投稿を当協会がシェア（リポスト）することで、新たな魅力の発見と情報を発信する。

また、蓄積した写真素材はパンフレットやウェブサイト等観光PRに活用する。

(2) PRツール作成・活用事業

①パンフレットやノベルティの作成・配布

パンフレット「さくら物語」や「観光マップ」やノベルティの作成・配布し、本市への誘客促進を図る。

文化庁の「100年フード（近代の100年フード部門）」に認定されている「郡山ブラック」取扱店舗と近隣の観光スポットを紹介した「郡山ブラック手帖」を配布・活用し、市内周遊の促進を図る。

②オリジナル販売商品の作製・販売

市内の観光地やグルメをデザインした郡山ローカル缶バッジ等のオリジナル販売商品の作製・販売を行い、観光地や物産品の魅力発信と誘客促進を図る。

(3) メディア等広報事業

新聞や情報誌、ウェブサイト等の広告媒体を活用した観光PRを実施する。

(4) 観光キャンペーン連携事業

福島県、郡山市と連携し、首都圏等で観光キャンペーンを実施する。

JR郡山駅等と連携し市内で開催するイベント等で観光PRを行うことで市民の観光に対する意識啓発に取り組む。

(5) プロスポーツ連携事業

市内を拠点として活動する福島ファイヤーボンズをはじめとするプロスポーツチームと連携し、ファンや対戦チーム等の観光客の増加とともに、地域経済の活性化を図る。

3 観光コンテンツ創出事業

福島県や郡山市、他団体と連携し、体験コンテンツ等を造成し、当協会 Web サイトや体験予約サイト等で販売を行う。また、旅行商品の販路拡大のため商談会等に参加する。

4 受入環境向上事業

(1) 観光地域づくり事業

会員の主体的な受入環境の向上への取り組みを促進するため、受入環境整備にかかる事業費や講座への参加費の一部を助成する。

◇おもてなしスキルアップ事業

(2) インバウンド受入環境整備事業

インバウンド対応の向上を図るため、会員や関係団体等にAI通訳機（ポケトーク）を無料でレンタルする。

(3) 合宿下見支援事業

スポーツ合宿や文化合宿の実施を検討している団体等に対し、下見に係る交通費や宿泊費の一部を助成することで、合宿受入環境を整備し、誘致を促進する。【新規】

5 地域団体活動支援事業

地域資源を活かした賑わいづくりなどの事業に取り組む地域観光協会等の団体に対し、対象経費の一部を助成する。

6 郡山市観光案内所運営事業

「東北のヒト・コト・モノを紡ぐワクワクする観光拠点」をコンセプトにこおりやま観光案内所（観光案内所・物販スペース）を郡山市と共同運営する。

① D&DEPARTMENT FUKUSHIMA by KORIYAMA CITY との連携

物販スペースを運営する D&DEPARTMENT FUKUSHIMA by KORIYAMA CITY と連携し、企画展示に関連する観光情報の発信や、関連イベントの周知協力を行う。

② インバウンドを含む観光客の利便性の向上のための環境整備

観光庁「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の認定や JNTO の外国人観光案内所

「カテゴリー 2（常時英語での対応可）」の認定を受け、観光客の利便性と受入れ環境の充実を図る。

- ◇ベビーカーレンタルサービス「ベビカル」の実施
- ◇車いすの設置・貸出
- ◇筆談アプリの導入
- ◇手荷物預かりサービスの実施【新規】
- ◇宿泊手配サービス（当日）の実施

7 教育旅行・スポーツ合宿誘致促進事業

パンフレット、ウェブサイト等で周知を図るほか、競技ごとターゲットを絞ったチラシを作成し、クラブチーム等へ直接PR活動を実施し、合宿の誘致を促進する。

8 物産振興・販路拡大事業

首都圏及び姉妹都市物産展等において、市内観光物産品のPR・販売を行い、物産振興及び販路拡大を図る。

通販酒類小売業免許を活用し日本酒・ウイスキー等の通信販売を実施する。【新規】

令和 7 年度 事業報告

1. 郡山版DMO推進事業

(1) 郡山版DMOの推進

①DMO推進委員会の開催

期日	会議名等	開催場所
7 月 24 日	第 1 回 DMO 推進委員会 ・ 令和 6 年度 DMO 事業報告書について ・ DMO の登録制度に係るガイドライン改正等について ・ 令和 7 年度事業計画について ・ 各団体の事業内容について（情報共有）	郡山市総合福祉センター
2 月 26 日	第 2 回 DMO 推進委員会 ・ 郡山市観光動向等観光データの状況 ・ 令和 7 年度活動報告について ・ 各団体の事業内容について（情報共有） ・ 郡山市観光戦略ビジョンと DMO の観光地経営戦略の策定について	けんしん郡山文化センター

(2) マーケティング事業

①「郡山市観光動向消費調査」（アンケート調査）の実施

〔調査対象〕 調査地点を訪れた主に県外からのビジネス客を含む観光客

〔調査方法〕 ウェブアンケート調査

〔調査内容〕 観光動向（来訪回数・目的・訪問地・交通手段等）

〔調査期間〕 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 2 月 28 日

〔回答者数〕 956 名



②東北観光 DMP（データマネジメントプラットフォーム）の活用

担当者会議

・ 第 1 回東北観光 DMP 担当者会議

令和 7 年 7 月 4 日（金） オンライン参加

・ 第 2 回東北観光 DMP 担当者会議

令和 7 年 10 月 8 日（水） オンライン参加

・ 第 3 回東北観光 DMP 担当者会議・基本操作研修会

令和 8 年 1 月 23 日（金） オンライン参加

令和 8 年 1 月 30 日（金） オンライン参加

令和 8 年 2 月 6 日（金） オンライン参加

- ・第4回東北観光 DMP 担当者会議

令和8年3月24日（火） オンライン参加

(3) 広域連携推進事業

（一社）東北観光推進機構、福島県、（公財）福島県観光物産交流協会、郡山市、こおりやま広域観光協議会等と連携し、商談会・観光プロモーション等を実施

- ・教育旅行（合宿）誘致キャラバン、スポーツチーム・アスリート向け総合展等
- ・県主催観光客周遊企画（ウルトラマン AR スタンプラリー等）
- ・東北の観光案内所のネットワーク化事業
- ・東北域内 DMO 会議、福島県 DMO 連絡協議会

(4) 地域観光協会連絡会

各地域観光協会との情報共有や相互連携のため連絡会を開催

[日時] 令和8年1月26日（月） 午後2時

[場所] 郡山市総合福祉センター

[内容] 郡山市宿泊動向データの報告、各観光協会との情報共有

(5) 会議・セミナー等

- ・観光地域づくり法人（DMO）の登録制度に係るガイドライン改正等に関する説明会
令和7年4月22日（火） オンライン参加

- ・令和7年度 第1回 DMO 全国会議

令和7年6月3日（火） 中央合同庁舎2号館（東京都千代田区）

- ・DMO に関する地方自治体向け説明会

令和7年6月23日（月） オンライン参加

令和7年6月30日（月） オンライン参加

- ・「観光地域づくり法人（DMO）による KGI・KPI 計測に係る手引書 ver. 1.0」に係るオンライン説明会

令和7年9月12日（金） オンライン参加

令和7年9月30日（火） オンライン参加

- ・令和8年度観光庁事業の実施に向けた地域説明会（DMO 総合支援事業について）

令和8年1月27日（火） オンライン参加

2. 情報発信事業

(1) 観光協会ウェブサイト・SNS 発信事業

① ウェブサイト情報発信

- ・会員事業所の情報を集約・発信
- ・花の名所 L I V E 映像配信

市内8地点の花の名所のリアルタイム開花状況と定点撮影画像により配信した。

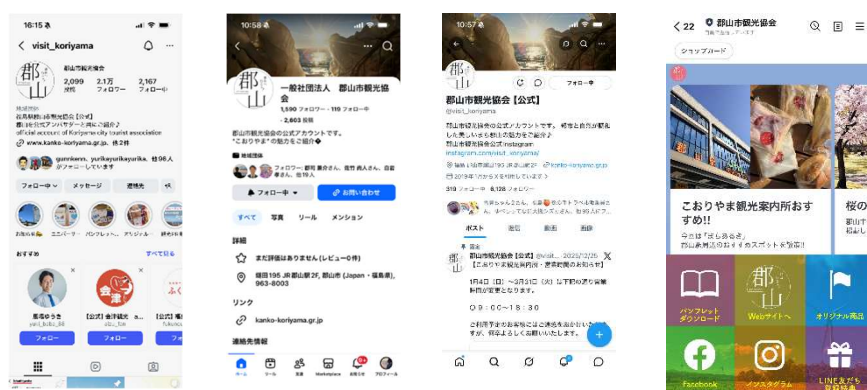
No.	種類	期間	地点名
1	桜	令和7年 3月下旬～ 5月下旬	紅枝垂地蔵ザクラ
2			開成山公園
3			藤田川ふれあい桜
4			石筵ふれあい牧場
5			四季の里 緑水苑
6			笹原川千本桜
7			舟津公園
8	ひまわり	7月中旬～ 9月下旬	郡山布引風の高原



② SNSの活用による情報発信

ア SNSによる情報発信（Instagram、Facebook、X、LINE）

ウェブサイトに加え、SNSにより自然や食、イベント等の情報を、幅広い層へ発信した。



[フォロワー数]

SNS	令和7年度	令和6年度	増減
Instagram	21,351 人	18,626 人	+14.63%
Facebook	1,589 人	1,444 人	+10.04%
X	6,129 人	5,526 人	+10.91%
LINE	12,229 人	12,033 人	+1.63%

イ SNSアンバサダー事業

外部のSNS投稿者をアンバサダーに認定し、各アンバサダーがこおりやま広域圏の魅力を投稿し、優良な投稿をリポストすることで、新たな魅力の発見と情報を発信した。

また、蓄積した写真素材はパンフレットやウェブサイト等観光PRへ活用を図った。

ウ こおりやま観光案内所スタッフがおすすめする観光スポット紹介事業

こおりやま観光案内所の職員が取材し、「郡山の魅力を再発見！こおりやま観光案内所スタッフおすすめ」として記事を作成し、SNSに投稿することで郡山の新たな魅力を発信した。

[投稿数] 23 回

(2) PRツール作成・活用事業

①パンフレットやノベルティの作成・配布

パンフレット等	発行部数	備考
こおりやま観光MAP	100,000 部	施設情報、広告内容等を更新
郡山ブラック手帖	50,000 部	商品情報、広告内容等を更新
郡山さくら物語	70,000 部	掲載情報、広告内容等を更新
郡山御朱印巡りマップ	10,000 部	掲載情報を更新



②オリジナル販売商品の作製・販売 ※下線部は令和7年度からの販売場所

商品名	販売場所	販売個数
御朱印帳	ファミリーマート郡山市役所店、 岩瀬書店富久山店	41 冊
香水はなかつみ	ファミリーマート郡山市役所店	32 個
郡山ローカル缶バッジ	こおりやま観光案内所、郡山カルチャーパーク、 <u>郡山石筴ふれあい牧場</u> 、 <u>イベント時の出店ブース</u>	515 個



【御朱印帳】



【香水はなかつみ】



【郡山ローカル缶バッジ】

(3) メディア等広報事業

新聞広告（福島民報・福島民友等）、イベント協賛広告（ビックツリー・ページェント等）

(4) 観光キャンペーン連携事業

期日	事業名	開催場所
4 月 5 日	ふくしままんぷくトレイン（ふくしま DC 特別企画）	JR 郡山駅～福島駅間車内
6 月 14 日	SATONO で行く磐越東線ごつつおさん号（ふくしま DC 特別企画）	JR 郡山駅ホーム

10月18日	鉄道の日イベント	こおりやま観光案内所
11月27日	第68回日本甲状腺学会学術集会	ホテルハマツ
1月31日～ 2月1日	あたま桜糸川桜まつり 熱海梅園梅まつり	糸川遊歩道ドラゴン橋 熱海梅園中央広場
2月28日	こおりやまえきまちフェス	JR郡山駅構内 1階
3月3日	郡山コンベンション相談会	ホテルハマツ

(5) プロスポーツ連携事業

「福島ファイヤーボンズ」「デンソーエアーリーベーズ」との連携により、ホーム戦にブース出店し、オリジナル商品の販売や本市の観光PRを行った。

期日	事業名	開催場所
4月12～13日	福島ファイヤーボンズ 郡山市サード・テイングマッチ	宝来屋ボンズアリーナ
10月4～5日	福島ファイヤーボンズ 郡山市サード・テイングマッチ	宝来屋ボンズアリーナ
10月11～12日	デンソーエアーリーベーズ 郡山市サード・テイングマッチ	宝来屋ボンズアリーナ
12月6～7日	デンソーエアーリーベーズ 郡山市サード・テイングマッチ	宝来屋ボンズアリーナ
2月21～22日	福島ファイヤーボンズ 郡山市サード・テイングマッチ	宝来屋ボンズアリーナ

3. 観光コンテンツ創出事業

(1) 地域旅行業取得による旅行サービス手配、宿泊手配

①旅行サービス手配

〔相手方〕 ツナガル株式会社旅行事業部

〔手配日〕 令和7年5月15日（木）

〔手配列車〕 あいづ SATONO

〔乗車区間〕 喜多方～郡山

②宿泊手配

紹介件数 5件

(2) 旅行商品化促進事業

旅行商品の販売

〔ツアー名〕 高柴デコ屋敷「きつね面」絵付け体験

〔期間〕 通年

〔内容〕 工房見学、きつね面の絵付け体験（ふくしまプレDC 特別企画として販売）

〔ツアー名〕 高屋敷稲荷神社「きつね面」ご祈祷体験

〔期間〕 令和7年4月～11月

〔内容〕 デコ屋敷で絵付けした「きつね面」をご祈祷して貰える特別なプログラム（ふくしまプレDC 特別企画として販売）

(3) 商談会

期日	事業名	開催場所
5 月 28 日	ふくしま DC 全国宣伝販売促進会議 観光商談会	ホテルハマツ
9 月 25～26 日	香港商談会	香港市内
10 月 27 日	福島県台湾観光商談会	四季彩一力
11 月 11 日	令和7年度ふくしま観光商談会	ホテルメトロポリタン エドモント（東京都）
1 月 28 日	地域観光魅力向上事業商談会	TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川 HEART（東京都）

4. 受入環境向上事業

(1) 観光地域づくり事業

会員の主体的な受入環境の向上への取り組みを促進するため、セミナー等の開催事業費や人材育成講座参加費を助成する会員を募集

「おもてなしスキルアップ事業」 【助成件数】 1 件

(2) インバウンド受入環境整備事業

インバウンド対応の向上を図るため、会員や関係団体等へ AI 通訳機（ポケットーク）の貸し出しを実施

【貸出件数】 1 件



(3) 合宿下見支援事業

スポーツ合宿や文化合宿の実施を検討している団体等に対し、下見に係る交通費や宿泊費の一部を助成する助成金交付要綱を整備し、商談会等でチラシを配布し周知を図った。

【助成件数】 1 件

5. 地域団体活動支援事業

地域資源を活かした賑わいづくり等の事業に取り組む地域観光協会等の団体に対し対象経費の一部を助成した。

【助成件数】 25 件

6. 観光案内所運営事業

「東北のヒト・コト・モノを紡ぐワクワクする観光拠点」をコンセプトにこおりやま観光案内所（観光案内所・物販スペース）を郡山市と共同運営した。

①こおりやま観光案内所利用者数

項目	令和7年度	令和6年度	増減
利用者数(全体)	13,623 人	13,551 人	+0.53%
うち外国人	854 人	794 人	+7.56%

②インバウンドを含む観光客の利便性の向上のための環境整備

- ◇「観光施設における心のバリアフリー認定制度」取得による観光案内所の環境整備
教育訓練の実施

[期間]令和7年8月20日(水)～22日(金)

[内容]発達障害のある方への研修(動画視聴)

- ◇ベビーカーレンタルサービス「ベビカル」の実施

貸出件数 14件

- ◇車いすの設置

貸出件数 53件

- ◇手荷物預かりサービスの実施

68件

- ◇宿泊手配サービス(当日)の実施

紹介件数 5件

- ◇筆談アプリの導入

③郡山市出身俳優 西田敏行さん追悼ノート設置

[名称]「西田敏行さん“愛してるぞい”ノート」

[来訪者数] 令和7年度 220人



④観光案内所企画展示エリア

「東北のヒト・コト・モノを紡ぐワクワクする観光拠点」をコンセプトに展示やイベントをきっかけとした新しい旅のスタイルを紹介した。

ア もののまわり展

- ・大堀相馬焼のものまわり

令和7年4月1日(火)～6月30日(月)

- ・963のものまわり

令和7年7月1日(火)～9月30日(火)

- ・清水薬草店のものまわり

令和7年10月1日(水)～令和8年1月31日(土)

- ・d design travel 特別号 刊行記念展示 一大堀相馬焼・陶吉郎窯の挑戦ー

令和8年2月1日(日)～令和8年3月31日(火)



イ その他

- ・リジェネラティブ・オーガニック自然酒祭「仁井田本家トークセッション」

令和7年12月27日(土) 参加者24名

- ・大堀相馬焼 陶吉郎窯の酒器体験会

令和8年1月24日(土) 参加者18名

7. 教育旅行・スポーツ合宿誘致促進事業

(1) 教育旅行誘致

ア 教育旅行推進委員会

- ・第1回教育旅行推進委員会

令和7年6月24日（火） コラッセふくしま（福島市）

- ・第2回教育旅行推進委員会

令和8年2月10日（火） コラッセふくしま（福島市）

イ PR 事業

- ・福島県教育旅行セミナー

令和7年8月22日（金） ホテル華の湯

(2) 合宿誘致

ア 合宿の里ふくしま

- ・令和7年度合宿の里ふくしま復興事業全体会議

令和7年9月17日（水） コラッセふくしま（福島市）

イ 商談会

- ・スポーツチーム・アスリート向け総合展 2025

令和7年6月26日（木） 東京ビッグサイト（東京都）

ウ 訪問誘致活動

- ・福島県観光物産交流協会 教育旅行誘致キャラバン（東京都）

令和7年9月11日（木）～12日（金）

8. 物産振興・販路拡大事業

(1) 首都圏および姉妹都市物産展等へ出展

期日	事業名	開催場所
5 月 22～23 日	郡山市観光物産展フェア in 横浜 ST ビル	横浜 ST ビル（神奈川県横浜市）
6 月 28～29 日	ふくしまフェスタ in りんくうプレミアム・アウトレット	りんくうプレミアム・アウトレット（大阪府泉佐野市）
7 月 2～3 日	第37回北海道・東北ブロック グラウンド・ゴルフ交歓大会	郡山市西部体育館
7 月 25～27 日	サマーフェスタ IN KORIYAMA ビール祭	郡山駅西口駅前広場
8 月 23～24 日	まつりつくば 2025	つくば市中央公園（茨城県つくば市）

9 月 20～21 日	こおりやま秋の味覚見本市 in 熱海	ラスカ熱海（静岡県熱海市）
9 月 28 日	鳥取三十二万石お城まつり	鳥取城跡・久松公園（鳥取県鳥取市）
10 月 18 日	すみだストリートジャズフェスティバル 2025	錦糸公園（東京都墨田区）
10 月 25～26 日	東海テレビ1 チャンまつり	久屋大通公園（名古屋市中区）
10 月 29～30 日	メディカルクリエーションふくしま 2025	ビッグパレットふくしま
11 月 29～30 日	奈良市友好姉妹都市観光物産展	道の駅「クロスウェイなかもち」（奈良県奈良市）
1 月 31 日～2 月 1 日	こおりやま観光物産フェア in 熱海	ラスカ熱海店（静岡県熱海市）
3 月 7～8 日	第 69 回湯島天神梅まつり	湯島天満宮（東京都文京区）
3 月 14～15 日	第 29 回藍・愛・で逢いフェスティバル	久留米地域地場産業振興センター（福岡県久留米市）

(2) オンラインショップ事業

会員事業者の商品 PR・販路拡大を目的として、令和 8 年 3 月にオンラインショップ「郡山を贈ろう！」を開設し、“郡山を感じて、誰かに贈りたくなる”を商品コンセプトとして、笹の川酒造と連携した観光協会オリジナルの日本酒セットや香水はなかつみの販売を開始した。



【オンラインショップ】



【商品一覧】

9. 関係団体の会議等

期日	会議名等	開催場所
4 月 10 日	令和7年度安達太良連盟総会	二本松市役所
4 月 12 日	郡山市開成山地区体育施設グランドオープン記念式典	宝来屋ボンズアリーナ
4 月 20 日	菓祖神萬寿神社例大祭まんじゅう祭り	開成柏屋
4 月 21 日	磐越西線 SL 等運行・活性化推進協議会幹事会	会津若松商工会議所
4 月 29 日	第 53 回宇津峰親善登山大会	宇津峰山（馬場平）
5 月 8 日	郡山うねめまつり実行委員会第 1 回企画部会	郡山商工会議所会館
5 月 14 日	こおりやま産業博－KORIYAMA EXPO2025－実行委員会総会	郡山商工会議所会館
5 月 16 日	令和7年度 郡山市国際交流協会理事会及び通常総会	郡山市総合福祉センター
5 月 18 日	第 71 回安達太良山山開き	奥岳登山口
5 月 23 日	磐梯熱海温泉旅館協同組合 意見交換会	ホテル華の湯
5 月 23 日	公益財団法人郡山市観光交流振興公社第 1 回理事会	郡山カルチャーパーク
5 月 25 日	第 32 回 一盃山登山大会	一盃山馬場登山口
5 月 28 日	「ふくしまデスティネーションキャンペーン」全国宣伝販売促進会議	ホテルハマツ
5 月 30 日	一般社団法人磐梯熱海温泉観光協会 令和7年度定時総会懇親会	ホテル華の湯
6 月 7 日	第 61 回ミスうねめ（春姫）コンテスト	郡山商工会議所会館
6 月 9 日	磐越西線 SL 等運行・活性化推進協議会総会	会津若松商工会議所
6 月 10 日	令和7年度第 1 回郡山警察署協議会及び意見交換会	郡山警察署
6 月 11 日	令和7年度第 1 回史跡大安場古墳保存活用計画策定委員会	郡山市役所
6 月 11 日	令和7年度ふくしま逢瀬ワイナリーイベント実行委員会総会	ふくしま逢瀬ワイナリー
6 月 16 日	郡山美味しい街づくり推進協議会「令和7年度通常総会・懇親会」	郡山ビューホテル本館
7 月 11 日	第 59 回萩姫まつり実行委員会	ほっとあたま
7 月 11 日	郡山美味しい街づくり推進協議会「第 2 回理事会・懇親会」	郡山商工会議所会館

7 月 16 日	令和 7 年度 公益財団法人郡山市観光交流振興公社第 3 回理事会	郡山カルチャーパーク
7 月 19 日	第 58 回湖まつり	湖南町舘浜
7 月 31 日	令和 7 年度第 1 回（通番：第 6 回）湖南七浜滞在環境等上質化協議会	湖南行政センター
8 月 1 日	郡山美味しい街づくり推進協議会「ふくしま DC 説明会」	郡山商工会議所会館
8 月 2 日	ふくやま夏祭り「第 34 回ふくやま夢花火」	富久山河川敷多目的広場
8 月 6 日	第 29 回郡山の太鼓	郡山駅西口駅前広場
8 月 7 日	うねめ供養祭	山ノ井公園（うねめ公園）
8 月 7 日	奈良市親善使節団歓迎夕食会	郡山ビューホテルアネックス
8 月 9 日	萩姫まつり「献湯祭」	熱海温泉事業所
8 月 14 日	第 54 回あさか野夏まつり花火大会	郡山カルチャーパーク
8 月 25 日	郡山布引風の高原まつり	湖南町赤津「郡山布引風の高原地内」
9 月 13 日	「第 23 回海老根長月宵あかり・秋蛸」オープニングセレモニー	海老根伝統手漉和紙工房
9 月 14 日	柳橋歌舞伎 令和 7 年度定期公演	柳橋歌舞伎伝承館（黒石荘）
10 月 7 日	令和 7 年度第 2 回郡山警察署協議会及び意見交換会	郡山警察署
10 月 8 日	ポケモン天文台福島県実行委員会第 1 回実行委員会	けんしん郡山文化センター
10 月 11 日	こおりやま産業博－KORIYAMA EXP02025－開会式	ビッグパレットふくしま
10 月 12 日	第 36 回浄土松公園まつり	浄土松公園
10 月 12 日	富岡の唐傘行灯花火	三穂田町富岡字五反田地内
10 月 17 日	第 61 回郡山うねめまつり実行委員会第 2 回企画部会	郡山商工会議所会館
10 月 21 日	磐越西線 SL 等運行・活性化推進協議会幹事会	会津若松商工会議所
10 月 23 日	令和 7 年度 第 2 回史跡大安場古墳保存活用計画策定委員会	蔭山工務店大安場史跡パーク
11 月 17 日	令和 7 年度こおりやま広域連携中枢都市圏ビジョン懇談会	郡山市役所
11 月 25 日	郡山美味しい街づくり推進協議会「第 3 回理事会」	郡山商工会議所会館

12 月 12 日	郡山市観光戦略ビジョン策定 第2回検討会	郡山市役所
12 月 16 日	磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代地域満喫プロジェクト 地域ブランディング部会	ラコパ福島
12 月 19 日	第61回郡山うねめまつり実行委員会第3回企画部会	郡山商工会議所会館
1 月 5 日	郡山商工会議所「2026年 新春賀詞交歓会」	ホテルハマツ
1 月 8 日	令和8年 磐梯熱海温泉合同新年会	ホテル華の湯
1 月 20 日	令和7年度第2回（通番：第7回）湖南七浜滞在環境等上質化協議会	湖南行政センター
1 月 28 日	一本の水路セミナー	郡山市役所
1 月 29 日	第62回郡山うねめまつり実行委員会 総会	郡山商工会議所会館
1 月 29 日	サマーフェスタ IN KORIYAMA 実行委員会総会	郡山商工会議所会館
2 月 6 日	令和7年度第1回「福が満開、福のしま。」福島県観光復興推進委員会総会	ウェディングエルティ
2 月 9 日	「七日堂スナップ写真コンテスト」「七日堂スケッチこどもコンクール」審査会	中央公民館金透分室
2 月 9 日	林野火災等対策連絡会	郡山市役所
2 月 12 日	磐越西線 SL 等運行・活性化推進協議会ワーキンググループ成果報告会	会津若松商工会議所
2 月 18 日	郡山ホテル協会 新年会	ホテルハマツ
2 月 26 日	磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代地域満喫プロジェクト地域協議会	キョウワグループ・テルサホール
3 月 4 日	令和7年度 郡山酒造協同組合 新酒持寄会	郡山ビューホテルアネックス
3 月 23 日	令和8年度「開成山の山開き」	開成山大神宮
3 月 23 日	令和7年度 第4回史跡大安場古墳保存活用計画策定委員会	郡山市役所
3 月 24 日	令和7年度第4回日本遺産「一本の水路」プロモーション協議会運営部会	郡山市役所
3 月 25 日	令和7年度 公益財団法人郡山市観光交流振興公社第7回理事会	郡山カルチャーパーク

10. 協会運営等

(1) 総会・理事会等

期日・会場	議事等
第1回理事会 (4/23 提案) ※書面開催	議案第1号 令和6年度収支第3号補正予算(案)について
第2回理事会 (5/21 開催) けんしん郡山文化センター	議案第1号 令和6年度事業報告について 議案第2号 令和6年度財務諸表等について 議案第3号 定時総会の開催について
定時総会 (6/20 開催) ホテルハマツ	議案第1号 令和6年度財務諸表等について 議案第2号 役員の選任について 報告第1号 令和6年度事業報告について 報告第2号 令和7年度事業計画について 報告第3号 令和7年度予算について
第3回理事会 (6/20 開催) ホテルハマツ	議案第1号 会長(代表理事)、副会長及び常務理事の選定について
第4回理事会 (11/27 開催) 郡山市労働福祉会館	議案第1号 一般社団法人郡山市観光協会給与規程の一部を改正する規程(案)及び嘱託職員等の雇用に関する規程の一部を改正する規程(案)について 報告第1号 令和8年度事業方針骨子について 報告第2号 職務執行状況について 報告第3号 その他の事項について
第5回理事会 (2/13 提案) ※書面開催	議案第1号 令和7年度収支補正予算(案)について 議案第2号 一般社団法人郡山市観光協会給与規程の一部を改正する規程(案)について 議案第3号 一般社団法人郡山市観光協会役員報酬等に関する規程の一部を改正する規程(案)について
第6回理事会 (3/27 開催) けんしん郡山文化センター	議案第1号 令和8年度事業計画(案)について 議案第2号 令和8年度収支予算(案)について 議案第3号 役員賠償責任保険契約の締結について 報告第1号 職務執行状況について

(2) 会員の状況（令和8年3月末日）

計 201 会員（正会員：88 会員／賛助会員：113 会員）

【対前年度】総計＋1（内訳 正会員：＋3、賛助会員△2）

・ 令和7年度入会 9 会員

（正会員 3 会員）

有限会社 あぶくま、一般社団法人 cycle village TAMAKAWA、
株式会社ケイリーパートナーズ

（賛助会員 6 会員）

ゲストハウス郡山、WAVE COFFEE、合同会社ピロノ、あさか野窯、株式会社いなびし、
YOSAKOI チーム粋狂

・ 令和7年度退会 8 会員

（賛助会員 8 会員）

株式会社福島ビーエス観光、郡山観光交通株式会社、有限会社山恵物産、丸三安田瓦工業
株式会社、日本全薬工業株式会社、夢成株式会社、株式会社アイデックス、ハーブとスロ
ーライフの研究家 たきたつとむ

事務報告の附属明細書

令和7年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

登録区分：	地域DMO（単一市区町村）
法人名：	一般社団法人郡山市観光協会
マネジメント区域：	福島県郡山市
分類：	年度報告

※分類は該当するものをプルダウンから選択してください

資料 2 - 4

申請様式ver2.0

登録要件充足確認書

凡例：	全法人が記入する項目
	登録済みの法人が記入する項目
	更新登録時に記入する項目

初回記入日：	2026年 7月 17日
最終更新日：	2026年 7月 17日
記入対象期間：	2025年 4月 1日 ～ 2026年 7月 16日

1. 登録要件に対する自己点検

登録要件	自己点検	様式中の該当箇所	関係資料
(1) 観光地経営戦略の策定、数値目標の設定、各種データ等の収集及び分析			
ア.ガイドラインで定める①～⑫（更新の場合は⑬含む）の全ての要素で構成され、中長期（4～5年間）を対象とした観光地経営戦略を作成すること。	満たしていない	様式6-1_観光地経営戦略	
イ.ガイドラインで定める必須KGIと必須KPIで定める全てのデータの収集及び分析ができる仕組みが構築されていること。	満たしている	様式7-3_登録要件充足確認書2（1）	
ウ.広域連携DMO及び都道府県DMOは、ガイドライン第6 1（1）ウで求められる役割に応じた方針を策定すること。	※プルダウンから選択	様式6-1_観光地経営戦略⑬-1、⑬-2	
(2) 観光地経営戦略に基づく取組の具体化と実施、検証、改善			
ア.戦略に基づく短期（1年間）を対象とした事業計画書を作成すること。また、KGIやKSF、KPIの達成状況及び計画の実施状況について評価・分析した上で事業報告書等を作成し、関係者と共有すること。 ※実際に共有を行った資料を添付	満たしていない	様式7-2_事業報告書（DMO独自様式）	
イ.観光資源の磨き上げ、地域の「売り」となる観光資源を活用した商品の開発や販売、地域が観光客に提供するサービスの品質管理、向上、評価をする仕組みや体制を構築すること。	満たしている	様式7-3_登録要件充足確認書2（2）	
ウ.観光客に対し、地域一体となって戦略に基づく一元的な情報発信やプロモーションを行うこと。	満たしている	様式7-3_登録要件充足確認書2（2）	
エ.広域連携 DMO 及び都道府県 DMO は、第6 1（1）ウにて定めた方針を踏まえた事業計画書を作成していること。	※プルダウンから選択	様式7-1_事業計画書（DMO独自様式）	
(3) 多様な関係者との体制構築			
ア.観光地経営戦略の策定等の合意形成において、観光地域づくり法人が中心的な役割を担っていること。	満たしている	－	
イ.マネジメント区域の多様な関係者による合意形成に当たっては、ガイドラインで定める①又は②のいずれかに該当すること。	満たしている	様式7-3_登録要件充足確認書2（3）	
ウ.合意形成の仕組みの中に、ガイドラインで定める①～④の全てが参画していること。 ※会議体の最新版の構成員名簿を添付	満たしている	様式7-3_登録要件充足確認書2（3）	DMO推進委員会委員名簿
エ.地域住民をはじめとするマネジメント区域の多様な関係者に対し、観光地経営戦略等の共有を行ない、意見の収集や反映を図ること。但し、広域連携 DMO 及び都道府県 DMO については、その限りではない。 ※実際に共有を行った資料を添付	満たしている	様式7-3_登録要件充足確認書2（3）	DMO推進委員会資料、観光動向消費調査報告書、DMO活動報告書
オ.合意形成の仕組みの場合（意思決定機関）での議事内容を公表すること。	満たしていない	様式7-3_登録要件充足確認書2（3）	
(4) 観光地域づくり法人の組織の確立			
ア.法人格を取得していること。 ※初回のみ法人登記を添付	満たしている	－	初回ではないため添付なし
イ.意思決定機関（第6 1（3）イにおける「合意形成の仕組み」と同義）を設置していること。	満たしている	様式7-3_登録要件充足確認書2（3）	
ウ.最終的な責任者を明確化していること。	満たしている	様式5_法人概要 1	
エ.データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（CMO）を配置していること。	満たしている	様式5_法人概要 1	
オ.財務責任者（CFO）を配置していること。	満たしている	様式5_法人概要 1	
カ.3名以上の常勤職員を配置していること。 ※3名以上の勤務形態が常勤であることがわかる資料を添付	満たしている	様式5_法人概要 1	常勤職員配置状況一覧表
キ.【新規登録】観光地域づくり法人の職員の満足度調査の実施及び満足度に係る数値目標を設定していること。 【更新登録】観光地域づくり法人の職員の満足度について、データの収集及び分析、評価を行ない、その結果を報告すること。また、目標の達成状況を踏まえ、計画の見直しを行うこと。	満たしていない	様式7-3_登録要件充足確認書2（4）	
ク.基礎的な研修を受講していること。 ※前年度までに中核人材、実務人材向け研修を受講した3名以上の修了証を添付	満たしていない	様式7-3_登録要件充足確認書2（4）	研修計画表
(5) 安定的な運営資金の確保			
ア.観光地域づくり法人が自立的かつ継続的に活動するための運営資金の確保に取り組むこと。	満たしている	様式7-3_登録要件充足確認書2（5）	
イ.財源計画を作成していること。	満たしていない	様式6-2_財源計画	
ウ.安定財源確保率の設定と評価を行うこと。	満たしていない	様式7-3_登録要件充足確認書2（5）	
エ.財源計画の分析、評価及び見直しを行うこと。	満たしていない	様式6-2_財源計画 2	
オ.安定財源確保率について、データの収集及び分析、評価を行ない、その結果を報告すること。目標の達成状況を踏まえ、計画の見直しを行うこと。	満たしていない	様式7-3_登録要件充足確認書2（5）	

2. 具体的な取組状況と課題

(1) 観光地経営戦略の策定、数値目標の設定、各種データ等の収集及び分析

観光地経営戦略の進捗状況と課題

関連する登録要件	ア ガイドラインで定める①～⑫（更新の場合は⑬含む）の全ての要素で構成され、中長期（4～5年間）を対象とした観光地経営戦略を作成すること。 ウ 広域連携DMO及び都道府県DMOは、ガイドライン第6 1（1）ウで求められる役割に応じた方針を策定すること。
----------	---

※観光地経営戦略に紐づく取組ごとに、前年度の取組実績及び分析と評価、課題をふまえた今後の取組方針を記入してください。

マーケティング	前年度の取組実績		2026年度に観光地経営戦略策定予定のため、現時点では実績や分析等なし
	前年度の取組に対する分析と評価		－
	課題をふまえた今後の取組方針		－
マネジメント区域 における 受入環境整備	前年度の取組実績		2026年度に観光地経営戦略策定予定のため、現時点では実績や分析等なし
	前年度の取組に対する分析と評価		－
	課題をふまえた今後の取組方針		－
顧客管理	前年度の取組実績		2026年度に観光地経営戦略策定予定のため、現時点では実績や分析等なし
	前年度の取組に対する分析と評価		－
	課題をふまえた今後の取組方針		－
観光による 受益を広く地域に 行き渡らせる取組	前年度の取組実績		2026年度に観光地経営戦略策定予定のため、現時点では実績や分析等なし
	前年度の取組に対する分析と評価		－
	課題をふまえた今後の取組方針		－
広域連携DMO／ 都道府県DMOに 特有の役割※	①	前年度の取組実績	
		前年度の取組に対する分析と評価	
		課題をふまえた今後の取組方針	
	②	前年度の取組実績	
		前年度の取組に対する分析と評価	
		課題をふまえた今後の取組方針	
	③	前年度の取組実績	
		前年度の取組に対する分析と評価	
		課題をふまえた今後の取組方針	
	④	前年度の取組実績	
		前年度の取組に対する分析と評価	
		課題をふまえた今後の取組方針	
	⑤	前年度の取組実績	
		前年度の取組に対する分析と評価	
		課題をふまえた今後の取組方針	
	⑥	前年度の取組実績	
		前年度の取組に対する分析と評価	
		課題をふまえた今後の取組方針	

KGIとKPIの目標指標									
関連する登録要件		イ ガイドラインで定める必須KGIと必須KPIで定める全てのデータの収集及び分析ができる仕組みが構築されていること。							

※直近 3 年間と今後 3 年間のKGI及びKPIの達成状況を記入してください。

●KGI及びKPI

※実績及び目標値は、暦年か年度か、右記のプルダウンから必ず選択してください。

⇒

年度

KGI		直近 3 年間の目標及び実績						今後 3 年間の目標※2		
		2023 年度		2024 年度		2025 年度		2026 年度	2027 年度	2028 年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
旅行消費額	全体	12,667	－	13,047	86,399	13,438	95,477	未定	未定	未定
【百万円】	インバウンド	－	－	－	－	－	－	－	－	－
直近のKGIの達成状況に対する分析		旅行消費額は、2024年度から2025年度にかけて約10.5%増加し、目標値である前年度比3%増を大きく上回る結果となった。この要因としては、延べ入込客数が3,871,570人から3,916,710人へ約1.2%微増したことに加え、一人当たり旅行消費額が41,062円から44,366円へ約8%増加した影響が大きいと考えられる。一方、平均訪問地点数には大きな変化が見られないことから、旅行消費額の増加は、主として観光客一人当たりの消費単価の上昇によるものと考えられる。今後は、この傾向を維持・拡大するため、高付加価値な観光コンテンツの充実や滞在時間・宿泊率の向上など、一人当たり消費額の更なる向上に向けた取組を推進する必要がある。なお、2023年度調査は立ち寄り地点設問の未回答率が42.9%と高く、平均訪問地点数の算出に適さないため、経年比較の対象外としている。また、2026年度以降の目標値は、観光地経営戦略策定時に設定する。								

KGI		直近の計画年	(XXXX年)	目標	(XXXX年)	直近の達成状況に対する分析と評価
経済波及効果 ※3年毎に計測	直接効果額					
	※単位をプルダウンから選択					
	生産誘発額 (最終需要額)					
	※単位をプルダウンから選択					
波及倍率		#DIV/0!		#DIV/0!		

KPI① (地域全体の成果)		直近 3 年間の目標及び実績						今後 3 年間の目標※2		
		2023 年度		2024 年度		2025 年度		2026 年度	2027 年度	2028 年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
一人当たり旅行消費額	全体	23,200	37,658	23,800	41,062	24,400	44,366	未定	未定	未定
【円】	インバウンド	－	－	－	－	－	－	－	－	－
直近のKPI達成状況に対する分析		目標値を大きく上回って推移している。2023年度と2024年度の費目別内訳を比較すると、宿泊費が大幅に増加している。延べ宿泊者数全体は大きく増加していないものの、インバウンド宿泊者数が大幅に増加していることから、外国人旅行者の増加による消費額の押し上げ効果があったと考えられる。また、宿泊料金ははじめとする各種サービスの価格上昇も宿泊費増加の要因として考えられる。 2024年度と2025年度を比較すると、宿泊費は概ね横ばいで推移している一方、交通費や買物代の増加がみられることから、旅行者による地域内消費が拡大している可能性がうかがえる。しかし、その増加には近年の物価上昇の影響も含まれていると考えられるため、実質的な消費拡大や観光消費の質の向上につながっているかを継続的に検証する必要がある。なお、2026年度以降の目標値は、観光地経営戦略策定時に設定する。								
延べ宿泊者数	全体	546	648	556	659	566	744	未定	未定	未定
【千人】	インバウンド	25	13	27	20	28	23	未定	未定	未定
直近のKPI達成状況に対する分析		全体は、目標値を上回って推移しており、増加傾向にある。2025年度については、全国の延べ宿泊者数全体（前年比0.8%減）に対し、郡山市では前年比12.9%増となっており、全国的な傾向を上回る伸びを示している。また、インバウンド延べ宿泊者数についても前年比15.0%増となり、全国の外国人延べ宿泊者数（前年比8.2%増）を上回る増加となったことから、全国的な訪日需要の拡大に加え、当地域への誘客効果も一定程度寄与しているものと考えられる。 一方、インバウンド延べ宿泊者数は増加傾向にあるものの、各年度とも目標値には達していない。目標値は観光庁の「明日の日本を支える観光ビジョン」における訪日外国人旅行者数の増加目標を参考に設定しているが、近年の実績値との乖離がみられることから、2030年の目標水準との整合性や達成可能性を踏まえ、地域の実態に即した目標設定を検討する必要がある。なお、2026年度以降の目標値は、観光地経営戦略策定時に設定する。								
来訪者満足度	全体	85.0	87.1	86.0	90.7	87.0	94.0	未定	未定	未定
【％】	インバウンド	－	－	－	－	－	－	－	－	－
直近のKPI達成状況に対する分析		来訪者満足度は上昇傾向にあり、目標値を上回って推移している。満足度調査では、「店舗やスタッフの対応」「景観・雰囲気」「食事」において特に高い評価が得られている一方、「交通・移動」や「情報・案内」などの項目は相対的に低い水準となっている。このことから、来訪者満足度の高さは利便性よりも、地域資源や滞在中の体験価値に対する評価が影響している可能性がある。また、自由記述においても温泉や食、地域の人々の対応を評価する意見が多くみられ、こうした要素が高い満足度につながっていることがうかがえる。なお、目標値は2018年実績を基準として毎年1%ずつ向上する形で設定されているが、2026年度以降の目標値は、観光地経営戦略策定時に設定する。								
住民満足度	【％】	－	19.5	－	23.4	－	26.5	未定	未定	未定
直近のKPI達成状況に対する分析		住民満足度は、年々上昇しているが、「大変満足」「満足」と回答した住民の割合は3割に満たない状況であり、観光振興の効果や意義が住民全体に十分浸透しているとは言い難い。なお、本指標はこれまで独自の算出方法による平均得点を用いていたが、観光庁の手引きに基づき、今回の報告から「満足」と回答した住民の割合を示す指標へ変更した。このため、従来の得点方式との単純比較が困難であることから、過年度の目標値は設定していない。なお、2026年度以降の目標値は、観光地経営戦略策定時に設定する。								
観光事業者の平均給与額	【千円】	－	－	－	－	－	－	未定	未定	未定
直近のKPI達成状況に対する分析		現時点では算出に必要な数値の把握ができておらず、目標値設定の基準となる参考数値も十分でない状況であるため、2026年度に策定予定の観光地経営戦略に基づき目標値を設定し、来年度から記載する。								
月別来訪者数の平準化率	【％】	－	14.3	－	10.6	－	11.9	未定	未定	未定
直近のKPI達成状況に対する分析		毎年1～3月が最も少なく、7～9月が最も多い傾向が続いている。平準化率は年度によって増減が見られることから、来訪時期の平準化は十分に進んでいるとは言い難い。引き続き、閑散期の誘客や季節ごとの観光コンテンツの充実に取り組み、来訪者の分散化を進める必要がある。2026年度以降の目標値は、観光地経営戦略策定時に設定する。								

KPI② (DMOの活動による直接成果) ※		直近 3 年間の目標及び実績						今後 3 年間の目標※2		
		2023 年度		2024 年度		2025 年度		2026 年度	2027 年度	2028 年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
マネジメント観点から設定するKPI		74.5	76.8	75.0	78.2	75.5	72.3	未定	未定	未定
リピーター率【単位：％】										

直近のKPI達成状況に対する分析	2023年度および2024年度は目標値を上回って推移していたが、2025年度は目標値を下回った。要因としては、来訪回数10回以上の割合が低下したことが影響しているものと考えられる。一方で、初回来訪者の割合は増加しており、新たな来訪者の獲得が進んだことがうかがえる。なお、来訪回数3～4回および5～9回の割合は前年度と概ね同水準で推移している。また、目標値は2018年の実績値を基準として毎年0.5%ずつ段階的な向上を目指して設定している。2025年度は未達であることから、今後は新規来訪者のリピーター化に向けた取組が課題になると考えられる。なお、2026年度以降の目標値は、観光地経営戦略策定時に設定する。								
マーケティング観点から設定するKPI	1,900,000	1,321,675	2,000,000	1,471,686	2,100,000	1,500,942	未定	未定	未定
ウェブサイトアクセス状況【単位：回】									
直近のKPI達成状況に対する分析	実績値は増加傾向にあり、2025年度には過去3年間で最高値を記録していることから、観光情報への関心喚起やウェブサイトへの集客は進展しているものと考えられる。アクセス状況を見ると、ご当地グルメや土産物に関するページへの閲覧が多く、また季節ごとの観光情報やライブカメラへのアクセスも多くみられることから、これらのコンテンツがアクセス数の増加に寄与している可能性がある。 一方で、2023年度にGoogleアナリティクスの計測方式がGA4へ移行し、ページビューの集計方法の変更や重複・無効アクセスの除外強化などにより、従来よりも実績値が低く算出される傾向となったことから、2023年度の実績値は大きく減少した。目標値は2019年度以降「毎年10万PV増」と設定しているため、目標値と実績値の間に大きな差が生じている。こうした状況を踏まえ、2026年度以降の目標値は、観光地経営戦略策定時に設定する。								

※1 旅行消費額、延べ宿泊者数はブルダウソ式で単位を選択してください。
※2 目標値を見直した場合、見直した箇所は文字色を「赤」にして提出してください。
※「KPI②（DMOの活動による直接成果）」はDMOが自ら設定するKPIです。登録済の法人は、マネジメント、マーケティングの観点からそれぞれ一つ以上の設定が必須となります。

●実行計画を踏まえた効果検証の実施

戦略・計画に基づいた取組結果の分析・評価	※観光地経営戦略⑫の効果検証を行った結果、明らかとなった昨年度の取組成果の分析・評価を記入してください。 2026年度に観光地経営戦略策定予定のため、現時点では分析・評価等なし
上記を踏まえた見直し事項の整理	※上記の分析・評価結果を踏まえ、「①合意形成の仕組みにてどのような議論がなされたのか」、「②議論を踏まえて、見直し事項が生じた場合は戦略・計画にどのように反映したか」を記入してください。 2026年度に観光地経営戦略策定予定のため、現時点では分析・評価等なし

（２）観光地経営戦略に基づく取組の具体化と実施、検証、改善

地域における取組の不足や重複等の定期的な調整	
関連する登録要件	ア 戦略に基づく短期（１年間）を対象とした事業計画書を作成すること。 事業の効果検証に当たっては、KGIやKSF、KPIの達成状況及び計画の実施状況について評価・分析した上で事業報告書等を作成し、関係者と共有すること。 ※作成した事業計画書および効果検証に当たって実際に共有を行った資料を添付すること。

※効果検証に当たって作成した事業報告書等を共有した合意形成の仕組み（会議体）の名称、開催日程等に加え、地域における取組の不足や重複等の調整を行った実績を具体的に記入してください。 2025年7月24日（木）第1回DMO推進委員会 宿泊、交通、スポーツ、農業、食等の各分野の取組状況や実績を共有し、地域観光資源の活用状況を把握した。特に、スポーツイベントによる来訪者の回遊、農泊受入施設の減少、食コンテンツの磨き上げ等について情報共有を行い、地域の観光コンテンツの強みや課題を整理した。また、宿泊事業者、交通事業者、観光関係団体との意見交換を通じて、各分野における連携強化の方向性を確認した。	
2026年2月26日（木）第2回DMO推進委員会 DMO推進委員会において、宿泊動向等の観光データを共有し、地域の現状分析を実施した。委員からは福島県内だけではなく東北主要都市との比較分析の必要性が提起され、今後のデータ分析手法の改善につなげた。また、インバウンド受入れの方向性や限られた財源の中での重点施策について議論を行い、観光地経営戦略策定に向けた課題整理と関係者間の認識共有を図った。	

観光客に対するサービス品質の評価・向上を図る仕組みの構築	
関連する登録要件	イ 観光資源の磨き上げ、地域の「売り」となる観光資源を活用した商品の開発や販売、地域が観光客に提供するサービスの品質管理、向上、評価をする仕組みや体制を構築すること。

※観光資源の磨き上げや受入環境の整備等の着地整備の取組について、記入してください。（例：着地型旅行商品の造成・販売、域内交通を含む交通アクセスの整備に係る調整、多言語表記 等）	
前年度の取組実績	高柴デコ屋敷における「きつね面」絵付け体験及び高屋敷稲荷神社における「きつね面」ご祈禱体験の商品化・販売を行うとともに、観光商談会への参加を通じて旅行会社等への提案を実施し、販路拡大及び誘客促進を図った。また、観光案内所において手荷物預かりサービス及び宿泊手配サービスを提供し、観光客の利便性向上と受入体制の強化に取り組んだ。さらに、スポーツ・文化合宿の誘致促進を目的として「合宿下見支援事業補助金交付要綱」を整備し、県外の大学・団体及び旅行事業者を対象に、下見に係る交通費・宿泊費の一部を補助する制度を創設した。あわせて、商談会や営業活動においてチラシ配布等による周知を行い、合宿候補地としての認知向上と誘致活動の推進を図った。補助制度では、市内施設の視察や施設担当者との商談を要件とすることで、実際の合宿実施につながる環境整備を進めた。
前年度の取組に対する分析と評価	高柴デコ屋敷「きつね面」絵付け体験及び高屋敷稲荷神社「きつね面」ご祈禱体験は、商談会等でのPRを実施したものの、利用実績には至らなかった。体験コンテンツの認知度不足や旅行需要のミスマッチ等が要因として考えられ、今後はSNSやウェブサイトを活用した情報発信、ターゲット層を明確にした販売戦略の構築が課題である。観光案内所における手荷物預かりサービスは68件の利用があり、観光客の周遊促進や利便性向上に一定の効果が認められた。一方で、宿泊手配サービスは5件にとどまり、サービスの認知度向上や宿泊施設との連携強化が必要である。また、合宿下見支援事業は、補助金交付要綱を整備し商談会等で周知を行った結果、1件の利用実績につながった。件数としては限定的であるものの、新たな誘致支援制度を創設し実際の利用に結び付いたことは成果であり、今後の合宿誘致拡大に向けた基盤整備が図られた。一方で、制度の認知度向上やターゲットとなる大学・競技団体・旅行会社への継続的な営業活動が必要であり、更なる利用促進が課題である。
課題をふまえた今後の取組方針	きつね面関連体験商品は、利用実績がなかったことから、SNSやWEBサイトなどの情報発信を強化し、認知度向上と販売機会の拡大を図る。観光案内所におけるサービスは、手荷物預かりサービスの利用ニーズが確認されたことから、引き続きサービスを実施する。また、宿泊手配サービスは、実績を踏まえ今後のサービス継続について検討を行う。合宿下見支援事業は、制度が創出されたことから、引き続きスポーツ団体や文化団体、旅行会社等への営業活動や商談会でのPRを実施し、制度の認知度向上を図る。また、下見から合宿実施までのフォロー体制を充実させることで、実際の合宿誘致につなげ、交流人口の拡大と地域経済への波及効果の創出を目指す。

※観光客に提供するサービスの品質管理・向上・評価が実施される仕組みや体制のための取組について、記入してください。（例：品質保証制度、OTAの活用、人材育成研修、CRMによるマーケティング 等）	
前年度の取組実績	協会員を対象とした「おもてなしスキルアップ事業」を実施し、観光ボランティアガイドの研修会開催を支援した。これにより、ガイド活動に必要な知識や接客スキルの習得を促進するとともに、郡山市の歴史・文化・自然などの地域資源を来訪者へ分かりやすく伝えるための案内技術の向上を図った。また、地域団体活動支援事業において、地域観光協会や祭り・イベント実施団体等25団体に対し活動経費の一部を助成し、地域資源を活用した観光振興や賑わい創出に向けた取組を支援した。
前年度の取組に対する分析と評価	観光ボランティアガイドへの研修支援により、来訪者への案内品質の向上や地域の魅力発信力の強化につながった。また、地域団体活動支援事業では25団体への助成を通じて地域主体の観光振興活動が展開され、地域資源の活用や交流人口の拡大に寄与した。特に「ぶくやま夏祭り・ぶくやま夢花火大会」では延べ約1万人の来場があり、バス増便等の交通対策により大きな混乱や渋滞もなく、安全かつ円滑な運営を行うことができた。一方で、観光関連事業者や地域団体においては、人口減少や高齢化の影響により、事業運営を支える人材や活動の担い手の確保が課題となっている。また、物価高騰などによるイベント運営費や事業経費の増加も課題である。
課題をふまえた今後の取組方針	観光客に提供するサービスの品質向上及び受入体制の充実を図るため、「おもてなしスキルアップ事業」を継続し、観光ボランティアガイド等の知識・接客スキルの向上に取り組む。また、地域団体活動支援事業についても、地域の魅力向上と交流人口の拡大を図るため、地域観光協会や各種団体による地域資源を活用した観光振興活動の継続支援に取り組む。さらに、関係団体との連携を強化しながら、限られた人員や予算の中でも効果的・効率的な事業運営に努め、観光客満足度の向上と持続可能な観光地域づくりを推進していく。

情報発信・プロモーションの実績・課題	
関連する登録要件	ウ 観光客に対し、地域一体となって戦略に基づく一元的な情報発信やプロモーションを行うこと。

※情報発信・プロモーションに係る取組の実績と課題について、記入してください。（例：ワンストップ窓口の整備、ターゲット別のプロモーション方針の作成、SNS発信、観光案内所のサービス維持・向上、トップセールス 等）

取組実績	地域住民で構成するSNSアンバサダーを組織し、市民目線による観光スポットやグルメ、季節の魅力などの情報発信を継続的に実施した。SNSアンバサダーが地域ならではの魅力を発信することで、観光客に対して親近感や信頼感のある情報提供を行うとともに、地域全体で観光振興に取り組む機運の醸成を図った。また、観光協会Webサイトにおいて地域事業者等から収集した観光情報を一元的に掲載し、多様な観光資源の魅力発信と認知度向上に取り組んだ。
取組に対する分析と評価	SNSアンバサダーの発信は、観光パンフレット等では伝わりにくい地域の日常的な魅力や最新情報を発信できる点で効果的であり、SNSフォロワー数の増加や情報拡散につながった。また、観光協会Webサイトにおける継続的な情報発信により、Webサイト閲覧数も増加した。一方で、SNSやWebサイトを通じた情報発信が実際の来訪や市内周遊につながったかを把握する仕組みが十分ではなく、情報発信の効果検証が課題となっている。
課題をふまえた今後の取組方針	SNSアンバサダーによる地域目線の情報発信を継続・充実させるとともに、発信内容やターゲットの最適化を図る。また、観光動向調査や東北観光DMP等のデータを活用し、SNSやWebサイトによる情報発信の効果把握・分析を進める。分析結果を踏まえ、ターゲットに応じた効果的なプロモーション手法を検討し、地域一体となった誘客促進と観光消費の拡大につなげていく。

※DMOが運営・管理を行っている旅行者向けウェブサイトの名称及びURLを記入してください。（ない場合は「なし」と記入）

（名称）郡山市観光協会公式ウェブサイト「郡山へ行こう」 （URL）…………… https://www.kanko-koriyama.gr.jp/
--

※上記ウェブサイトが以下に該当する場合は「○」を選択してください。

a. 地域全体を包括している（※）	○	b. 宿泊、体験・アクティビティ、飲食に係る情報を掲載している	○	c. 宿泊及び体験・アクティビティについて、サイト内で予約から決済まで一気通貫に行える状態になっている	
d. 宿泊及び体験・アクティビティについて、他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能な状態になっている	○	e. ターゲットに即した言語で(a)、(b)、を満たしている		f. ターゲットに即した言語で、宿泊及び体験・アクティビティについて、サイト内或いは他予約サイトへ遷移した上で予約・決済が可能な状態になっている	

※地域サイトにおいて、地域内の主要な各エリアの情報を1つ以上掲載している状態を指す。

（3）多様な関係者との体制構築

合意形成の仕組み	
関連する登録要件	ア 観光地経営戦略の策定等の合意形成において、観光地域づくり法人が中心的な役割を担っていること。 イ マネジメント区域の多様な関係者による合意形成に当たっては、ガイドラインで定める①又は②のいずれかに該当すること。 オ 合意形成の仕組みの場合（意思決定機関）での議事内容を公表すること。

合意形成の仕組みとして位置づけている会議体の名称	※例：理事会、協議会 等 DMO推進委員会				
上記合意形成の仕組みの概略	※例：DMOの役割、行政やその他構成員の役割分担 等 行政、商工、宿泊、飲食、交通、農業等の多様な関係者・ステークホルダー（事務レベル）が参画する場を設け、地域の現状や課題、事業の方向性について情報共有・意見交換を行う。各主体はそれぞれの専門性や立場から意見を提供し、DMOが意見の集約・調整を担いながら、関係者間の合意形成を図る。				
合意形成の仕組みの類型 ※当てはまる方の「○」を選択してください。	①取締役、理事等観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で、行政、文化、スポーツ、農林漁業、商工業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画	○	②観光地域づくり法人が主導して、行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループ等の委員会等を設置		
直近の開催実績（開催日時と参加人数） ※開催していない場合は、その理由と今後の見通しを記入すること。	2025年7月24日（木） 午前10時00分～午前11時30分 令和7年度 第1回DMO推進委員会 出席18名 2026年2月26日（木） 午後2時30分～午後4時00分 令和7年度 第2回DMO推進委員会 出席11名				
意思決定機関での議事内容の公表方法 ※実際に共有を行った資料を添付すること （ウェブサイトで公開している場合はURL記入）	郡山市観光動向消費調査報告書およびDMO推進委員会資料掲載先→ https://www.kanko-koriyama.gr.jp/site/information.html 議事内容の公開は行っていない。				

合意形成の仕組みとして位置付けている会議体の構成員	
関連する登録要件	ウ 合意形成の仕組みの中に、ガイドラインで定める①～④の全てが参画していること。

※上記合意形成の仕組みとなる会議体における構成員のうち、以下の①～④に該当する関係者の組織・団体名を全て挙げてください。（会議体の最新版の構成員名簿を添付すること）

①地域が売りとする観光資源の関係者	（一社）郡山市観光協会、（一社）磐梯熱海温泉観光協会、郡山商工会議所、郡山地区商工会広域協議会、郡山飲食業組合、（公財）郡山コンベンションビューロー、郡山美味しい街づくり推進協議会、（公財）郡山市観光交流振興公社、福島さくら農業協同組合、（公財）郡山市文化・学び振興公社、特定非営利活動法人まざっせKORIYAMA、郡山酒造協同組合
②宿泊事業者	郡山ホテル協会、郡山市旅館ホテル組合
③交通事業者	東日本旅客鉄道株、福島交通株、郡山地区ハイヤータクシー協同組合
④行政	福島県（県中地方振興局企画商工部）、郡山市（文化振興課、スポーツ振興課、観光政策課、農業政策課、農業生産流通課）

観光地経営戦略の共有と関係者の意見収集	
関連する登録要件	エ 地域住民をはじめとするマネジメント区域の多様な関係者に対し、観光地経営戦略等の共有（※）を行ない、意見の収集や反映を図ること。但し、広域連携 DMO 及び都道府県 DMO については、その限りではない。 <u>※共有すべき資料には、観光地経営戦略および自らの活動意義、取組内容及び成果、KPIの達成状況、地域経済や社会変化の分析結果等を盛り込むこと</u>

※該当する共有方法の「○」を選択してください。

共有方法・実績 <u>※実際に共有を行った資料を添付すること。DMOのウェブサイト等で共有している場合はURLを記入すること。（https://〇〇〇〇）</u>	a. 住民説明会		b. ニュースレター等の広報誌による共有		c. DMOが運営するウェブサイト上での公表	○	d. その他	
地域住民からの意見の収集方法及び戦略等への反映の検討状況	※共有方法の詳細及び実施した日時等について記入してください。 DMO推進委員会資料、観光動向調査報告書、活動報告書をウェブサイトにて随時公開 ・郡山市観光動向消費調査報告書およびDMO推進委員会資料掲載先→ https://www.kanko-koriyama.gr.jp/site/information.html ・郡山版DMO活動報告書掲載先→ https://www.kanko-koriyama.gr.jp/koriyama-dmo.html 公開資料を通じて地域住民への情報共有を行っている。なお、観光地経営戦略については2026年度に策定し、公表予定。							

（４）観光地域づくり法人の組織の確立

職員の満足向上に向けた取組の評価と今後の取組方針

関連する登録要件	キ 観光地域づくり法人の職員の満足度について、データの収集及び分析、評価を行ない、その結果を報告すること。また、目標の達成状況を踏まえ、計画の見直しを行うこと。
----------	--

職員満足度調査の実施手法	これまで実施していなかったが、2026年度より年1回全職員を対象に実施予定。調査結果をもとに、2027年度以降の目標値を設定する。
--------------	---

職員満足度の実績と目標値

職員満足度 【％】	直近３年度分の実績						今後３年間の目標		
	2023 年度		2024 年度		2025 年度		2026 年度	2027 年度	2028 年度
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標	目標
	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※職員の満足度向上に向けた取組状況及び評価と分析、評価・分析をふまえた今後の取組方針を記入してください。

取組状況及び取組に対する評価・分析	-
評価・分析をふまえた今後の取組方針	2026年度に策定予定の観光地経営戦略に基づき目標値を設定し、来年度から記載する予定。

基礎的な研修の受講状況

関連する登録要件	ク 基礎的な研修を受講していること。
----------	--------------------

研修区分	受講者		受講研修名	受講日
	役職	氏名		
経営層向け研修				
中核人材、実務人材向け研修 ※前年度までに受講した３名分の修了証を添付すること	(例) ①CMO ②マネジャー	(例) ①観光 花子 ②観光 太郎	(例) ①〇〇研修 ②□□研修	(例) ①2026年5月10日 ②2026年6月6日

（５）安定財源の確保

安定財源の確保に向けた取組の評価と今後の取組方針

関連する登録要件	ア 観光地域づくり法人が自律的かつ継続的に活動するための運営資金の確保に取り組むこと。 ウ 安定財源確保率の設定と評価。運営資金の財源について、自主財源をはじめとした安定的かつ多様な財源の確保を目指し、安定財源確保率の数値目標を設定すること。
----------	--

※法人全体としての収入・支出について、最新決算月時点のものを記入してください。

●前年度決算期における収入内訳と安定財源率

項目		金額（千円）
収入総額		63,200,117
うち安定財源総額		10,472,953
特定財源 事業収入 行政交付金等 ※	地方税（宿泊税、入湯税等）	
	受益者（観光事業者等）の負担金・分担金	
	寄付金・協力金	
	その他（XXX）	
	道の駅等の指定管理収入	
	その他受託事業収入	3,251,659
	・ 行都道府県補助金・交付金	
	2 負担の都道府県負担金	
	金交市町村補助金・交付金	
	等※市町村負担金	
	会費	3,460,000
	DMOに対する寄付金	
	収益事業	3,761,294
	その他財源総額	52,727,164
交付金等 ※	国補助金・交付金	
	行政交付金・都道府県補助金・交付金	
	・ 政都道府県負担金	
	2 負担の市町村補助金・交付金	52,187,864
	金等市町村負担金	
	※その他（雑収益）	539,300
安定財源率		16.6%

●前年度決算期における支出内訳

項目		金額（千円）
支出総額		62,680,993
事業費総額	ターゲットに対するマーケティング	11,320,639
	マネジメント区域における受入環境整備	2,130,052
	顧客管理	39,627
	観光による受益を広く地域に行き渡らせる取組	17,319,311
	その他	22,734,798
	一般管理費	9,136,566
	人件費	7,073,670
	その他	2,062,896

■安定財源の凡例（抜粋）

項 目	概 要
特定財源	・ 地方税（宿泊税、入湯税等）を原資とした地方公共団体から拠出される資金 ・ 観光地整備等の受益者（観光事業者等）の負担金・分担金を原資とした地方公共団体から拠出される資金 ・ 観光客からの寄付金や協力金を原資とした地方公共団体から拠出される資金
受託事業	・ 指定管理者制度により、地方公共団体が所有する施設（道の駅、駐車場、宿泊施設、飲食施設、温泉施設、文化施設等）の管理や運営業務、ふるさと納税の事務等の受託に係る収益
行政からの交付金・負担金等	・ 使途の指定がなく、観光地域づくり法人の裁量で活用できる交付金・負担金等 ・ 中長期（観光地経営戦略の対応期間）に渡り支出が確定している交付金・負担金等

■その他財源の凡例

項 目	概 要
行政からの交付金・負担金等	・ 使途の指定がある、または単年度の歳出による交付金・負担金等

安定財源確保率の実績と目標値

安定財源確保率 【％】	直近３年度分の実績						今後３年間の目標		
	2023 年度		2024 年度		2025 年度		2026 年度	2027 年度	2028 年度
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標	目標
	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※安定財源の確保に向けた取組状況及び評価と分析、課題をふまえた今後の取組方針を記入してください。

安定財源確保に向けた取組状況	－
取組に対する分析と評価	－
課題をふまえた今後の取組方針	2026年度に策定予定の観光地経営戦略に基づき目標値を設定し、来年度から記載する予定。

※以下は登録要件ではありません。

3. その他取組状況調査

【組織外部からの監視や評価】

※外部組織等によるDMOの事業や予算に対する検証の仕組みがある場合は、検証方法や実績を記入してください。

検証時期	随時・毎年4月	外部組織等	(例) 公認会計士1名、XXX 郡山市観光政策課、税理士法人三部会計事務所
検証方法	・監事を3名を設置し、毎年度監査を実施している。 ・市の担当部署（観光政策課）において、事業の進捗状況やKPIの達成状況、予算等について検証し、次年度の事業内容や予算の検討に反映させることとしている。 ・会計事務所と顧問契約を締結し、当協会の決算および財務状況について確認を行っている。		
検証結果の公表の有無とその方法	無		

【観光DXに関する取組】

※観光DXに関する取組の状況について、該当する方の「○」を選択してください。

■デジタル化やDXを推進するための要素が盛り込まれた、データに基づいた戦略を策定していますか。

選択肢	チェック
策定している	
策定していない	○

■CRMを有するシステムを活用していますか。

選択肢	チェック
活用している	
活用していない	○

■DMPを有するシステムを活用していますか。

選択肢	チェック
活用している	○
活用していない	

※「デジタル化やDXを推進するための要素」については以下のものとします。（「観光DX推進による観光地の再生と高度化に向けて（最終取りまとめ）」p.34）

- (1)データ活用の目的（観光地の経営状況の判断、観光地域マネジメント・マーケティング、DX等）、(2)目的を達成するために必要なデータ、(3)当該データの取得主体、(4)当該データの取得方法、
(5)データに基づいたPDCAサイクル実施方法

※なお、ここで言う経営戦略は、必ずしもガイドラインで定める観光地経営戦略である必要はありません。

【観光庁事業の採択実績】

前年度に観光庁から採択を受けた補助事業等がある場合は、その実績を記入してください。

採択事業名	※観光庁から採択を受けた事業名
-------	-----------------

以上

プロフィール		一般社団法人郡山市観光協会				【 地域DMO（単一市区町村） 】		初回記入日：2026年 7月 17日 最終更新日：2026年 7月 17日	
資料 2－5									
●基礎情報									
対象区域		福島県郡山市							
代表者		菅野 豊			設立時期		2017年4月3日		
業務執行責任者（COO）		伊坂 透	マーケティング責任者（CMO）		松畑 順也	財務責任者（CFO）		坂井 俊之	
職員数		9 人（常勤）	9 人（正職員）	0 人・出向等	9 人）				
収入総額【千円】		収入総額	63,200,117	収入内訳【千円】	<安定財源>		<その他財源>		
		うち、安定財源	10,472,953		特定財源	0	行政からの交付金・負担金等	52,187,864	
		その他財源	52,727,164		受託事業	3,251,659	その他	539,300	
		※安定財源率	16.6%		行政の交付金・負担金等	0	会費	3,460,000	
					DMOに対する寄付金	0			
連携する主な事業者				収益事業	3,761,294				
		<観光資源の関係者>		郡山市(観光政策課、スポーツ振興課、農業生産流通課等)、各地域観光協会(10団体)、郡山商工会議所、各地区商工会、郡山飲食業組合、郡山酒造協同組合、福島さくら農業協同組合、郡山コンベンションビューロー等					
		<宿泊事業者>		磐梯熱海温泉旅館協同組合、郡山ホテル協会、郡山市旅館ホテル組合					
		<交通事業者>		株式会社東日本旅客鉄道株式会社(JR郡山駅)、福島交通株式会社、郡山地区ハイヤータクシー協同組合					

●戦略	
マネジメント区域の状況	郡山市は福島県のほぼ中央に位置し、新幹線や高速道路、福島空港を結ぶ交通結節点として「東北の玄関口」の役割を担っている。人口30万人を超える東北有数の都市であり、都市機能やコンベンション施設が充実し、観光・ビジネス双方で多くの来訪者を受け入れている。観光入込客数は東日本大震災や新型コロナウイルス感染症の影響により一時減少したものの、2024年には399万人まで回復し、震災前水準に達している。コロナ禍前のピーク時（2019年・511万人）には及ばないものの、外国人延べ宿泊者数は過去最高を記録するなど、観光需要は着実な回復基調にある。 また、区域内には、日本遺産「安積開拓・安積疏水」をはじめ、開成山大神宮や安積歴史博物館などの歴史・文化資源、磐梯熱海温泉や猪苗代湖、郡山布引風の高原などの自然資源が豊富に存在し、うねめまつりや郡山シティーマラソンなどのイベントも年間を通じて開催されている。観光体験としては、猪苗代湖でのサイクリング、三春駒・張子人形・きつね面の絵付け体験、安積蒸溜所や酒蔵見学、農業体験、そば打ち体験など、多様なアクティビティを提供している。さらに、郡山クリームボックスや地酒、クラフトウイスキーなど特色ある食・酒も魅力である。 交通面では、東京から東北新幹線で約80分、仙台から約40分とアクセス性が高く、市内はJR各線と路線バス網により移動が可能である。こうした交通利便性と多彩な観光資源を活かし、広域観光の拠点としての役割を担っている。
	観光地のビジョン （目指す姿）
	観光地域づくりのコンセプト
	主要なターゲット
	交通結節点としての優位性と地域固有の食・酒・温泉・自然・文化等の観光資源を活かし、交流人口及び関係人口の拡大を図るとともに、来訪者・地域住民・事業者が観光の価値を共有できる持続可能な観光地域の実現を目指す。あわせて、広域観光の拠点としての機能強化を図り、地域経済の活性化と観光消費の拡大につなげる。詳細は、2026年度に策定予定の観光地経営戦略において整理・検討する。
	人・モノ・情報が集まる東北の玄関口として、地域が誇る食・酒・温泉・都市機能等の魅力を磨き上げ、「美味しい」「楽しい」体験を提供する広域観光拠点を形成。詳細は2026年度に策定予定の観光地経営戦略において整理・検討する。

●具体的な取組	
【観光資源の磨き上げ、受入環境整備、着地整備に関する取組】	「東北のヒト・コト・モノを紡ぐワクワクする観光拠点」をコンセプトに、郡山市と共同でこおりやま観光案内所を運営している。案内機能に加え、地域の歴史・文化・食などの観光資源を活用した企画展示や体験イベントを実施し、地域の魅力発信と観光資源の磨き上げを推進している。また、心のバリアフリー認定の取得をはじめ、AI通訳機（ポケトーク）の貸出、筆談アプリの導入、ペピーカーレンタル、車いす貸出など、多様な来訪者のニーズに対応した受入環境整備を推進し、誰もが安心して観光を楽しめる環境づくりと受入体制の強化に取り組んでいる。
【プロモーションに関する取組】	Instagram、Facebook、X、LINE等のSNSを活用した戦略的な情報発信に力を入れており、観光・イベント・グルメ・季節の魅力など多様なコンテンツを継続的に発信。特にInstagramのフォロワー数は約2.1万人を超え、地域内外へ観光プロモーションを展開している。また、SNSアンバサダー事業を実施し、地域住民やクリエイターならではの視点による情報発信を通じて、地域の新たな魅力発掘と情報拡散を推進している。さらに、SNS投稿写真を観光PR素材として二次活用することで、公式媒体や各種プロモーションへ展開し、共感を生む情報発信と誘客促進につなげている。
	公式ウェブサイト「郡山へ行く」を運営し、観光・宿泊・飲食・イベント等の情報を発信している。日々情報収集・更新を行うとともに、事業者から寄せられる新着情報を継続的に掲載することで、タイムリーな情報発信を実現。また、市内の桜や花の名所に設置したライブカメラによるリアルタイムの開花状況の発信や、SNS投稿との連携によりトップページの掲載内容が日々変化する仕組みを導入し、常に新しい地域の魅力を発信している。さらに、教育旅行、体験コンテンツ、オンラインショップ等へ円滑にアクセスできる構成とし、多様な観光ニーズに対応した情報発信を行っている。
	地域団体活動支援事業にて、地域観光協会や祭り・イベント実施団体等25団体に対し活動経費の一部を助成し、実施団体を中心に関係機関等との調整が行われ、地域資源を活用したイベント運営や受入体制の構築が進められている。特に「ふくやま夏祭り・ふくやま夢花火大会」では、主催団体等により交通対策（バス増便等を含む）が講じられ、安全かつ円滑な運営が行われた。地域団体の活動支援や関係者間の連携促進の枠組みを構築し、多様な関係者による連携・調整体制のもとで観光振興の推進と受入環境の向上につなげている。

一般社団法人郡山市観光協会DMO推進委員名簿 (令和8年7月現在)

No.	役職	団 体 名	職 名	氏 名
1	委員長	一般社団法人郡山市観光協会	副会長	山口 哲蔵
2	副委員長	一般社団法人郡山市観光協会	常務理事 兼事務局長	伊坂 透
3	委員	一般社団法人磐梯熱海温泉観光協会	理事兼企画委員長	丹治 亮
4	委員	郡山商工会議所	開発事業部長	宗像 健雄
5	委員	東日本旅客鉄道株式会社 福島事業本部	副長	臼沢 祐子
6	委員	福島交通株式会社 郡山支社	乗合営業課長	磯貝 憲一
7	委員	郡山地区ハイヤータクシー協同組合	理事長	西條 勝敏
8	委員	郡山地区商工会広域協議会	事務局長	須釜 正晃
9	委員	郡山ホテル協会	理事	上杉 健
10	委員	郡山市旅館ホテル組合	副組合長	西間木 渉
11	委員	郡山飲食業組合	組合長理事	藤原 賢一
12	委員	公益財団法人郡山コンベンションビューロー	総務企画課長	佐藤 良秋
13	委員	郡山美味しい街づくり推進協議会	副会長	小平 一夫
14	委員	公益財団法人郡山市観光交流振興公社	総務課長	七海 重浩
15	委員	福島さくら農業協同組合 郡山統括センター	統括部長	関口 純
16	委員	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社	事務局長	三瓶 尚久
17	委員	特定非営利活動法人 まざっせKORIYAMA	理事長	宮川 雄次
18	委員	郡山酒造協同組合	理事長	仁井田 穂彦
19	委員	福島県県中地方振興局企画商工部	部長	水野 賢一
20	委員	郡山市文化振興課	課長	熊田 重美
21	委員	郡山市スポーツ振興課	文化スポーツ観光部 次長兼課長	小松 信一
22	委員	郡山市観光政策課	課長	遠藤 英樹
23	委員	郡山市農業政策課	課長	矢吹 良樹
24	委員	郡山市農業生産流通課	農商工部次長兼課長	結城 弘勝

令和8年度 DMO 推進委員会の活動計画

【令和8年度の活動目標】

郡山市の観光地域づくりの方向性、重点施策及び評価指標を整理した「観光地経営戦略」を策定します。

※観光庁は、各 DMO(地域づくり法人)に観光地経営戦略の策定を義務づけています。

1 今年度の DMO 推進委員会の活動概要

今年度の DMO 推進委員会では、郡山市の観光の現状・課題を共有し、データと現場の声に基づいて観光地経営戦略に記載する事項を整理していきます。

今年度は委員会を5回開催する予定です。郡山が目指すべき方向性、重点施策、目標項目と目標値について委員会で協議し、観光地経営戦略に規定する項目を決定していきます。

2 今年度の開催予定

回	時期(予定)	主な内容・到達点
第1回	7/17(金)	令和 7 年度登録 DMO 事業報告書(案)の確認、新ガイドラインへの対応共有、年間の活動計画の確認、各団体の情報共有など
第2回	9/18(金)	郡山観光の現状、宿泊・来訪・消費等のデータ、地域・業界の課題及び各団体の連携項目・可能性の洗い出しなど
第3回	11/24(火)	観光地として目指す姿、重点ターゲット、戦略の柱及び観光地域づくりのコンセプト、KGI・KPI の目標設定の整理・検討など
第4回	1/22(金)	事務局がまとめた観光地経営戦略(案)の内容確認、実行計画(何をいつ(誰が)どこまでやるのか分かるもの)の検討
第5回	3/19(金)	事務局がまとめた実行計画(案)の内容確認、次年度以降の活動計画、評価の進め方の確認など

3 観光庁専門家派遣事業の活用について

当該制度を活用し、専門家の意見を踏まえてより良い戦略や実行計画を策定したいと思います。

- ・各回の開催前に専門家に事務局から状況を共有し相談する
- ・その結果を次の委員会で委員に共有する
- ・専門家の方に委員会に参加いただき、事業者の皆さまと意見交換や相談 など

観光地経営戦略で定める項目一覧

観光地経営戦略は、次回更新登録に向けて観光庁へ提出する重要書類です。

令和 8 年度は、DMO 推進委員会で郡山市の観光の現状・課題を共有し、次の項目について方向性を整理します。

No.	項目	委員会で決める・整理すること
1	観光地のビジョン・KGI (重要目標達成指標)	①郡山市が目指す観光地の姿 ②最終的な成果目標（旅行消費額（必須）、任意項目） ③経済波及効果（更新登録時のみ必須）
2	DMO の使命	郡山市観光協会 DMO が果たす役割、地域の中で担う機能
3	データの活用方針	①KGI/KPI の各データについて、総論的なデータの活用方針 ②来訪者の満足度、住民満足度、観光事業者の平均給与額、どう取得・共有するか等
4	環境分析	①観光資源、宿泊、交通、受入環境等の現状 ②郡山市の強み・弱み、機会・脅威（SWOT 分析） ③郡山市の観光を取り巻く現状や課題を踏まえた取組方針
5	観光地域マーケティング戦略	①観光地域づくりのコンセプト ②観光客の主要なターゲット
6	地域のマーケティングミックス（4P）	5②観光客の主要なターゲットに対する商品・サービス、価格、販路・提供場所、プロモーションの方向性
7	受入環境整備の方針	インバウンド対応、二次交通、ガイド育成、バリアフリー等の取組方針
8	顧客管理の方針	地域全体として、顧客（旅行者）の観光体験を向上し、リピーター化してもらうための取組方針。旅行者が郡山市を知り、訪問し、滞在し、再訪するまでの流れを整理し、各段階で必要な情報やサービスをどう整えるか等。
9	観光による受益を地域へ広げる方針	観光消費を宿泊・飲食・交通・農業・商業等へ、どうやって波及させるか等。
10	KSF・KPI (成功要因・評価指標)	①KGI 達成に必要な成功要因（KSF） ②KPI（一人当たり旅行消費額、延べ宿泊者数、満足度等）5 年後までの目標
11	実行計画	観光地経営戦略に基づき、具体的に「何を、いつ、誰が、どこまで行うか」／実施主体・役割分担などを記載。
12	効果検証の体制と方法	DMO 推進委員会等での検証体制／KPI 確認の頻度、改善への反映方法
13	更新登録に向けた成果分析・見直し	過去の成果を分析・評価し、戦略や取組の見直しにつなげる項目

補足 ・第 1 回では全項目を議論・決定するものではなく、次回以降の委員会を通じて段階的に整理します。

・必要に応じて、各団体の現場課題、活用可能な資源、連携可能な取組を確認し、戦略へ反映していきます。

地域の観光課題 専門家に相談してみませんか？

DMO総合支援(広域連携観光促進)のための 専門家派遣事業

実施期間:令和8年6月10日(水)～令和9年2月5日(金)

支援対象:登録DMO、候補DMO、地方公共団体

1要請につき
最大5回まで
派遣可能

課題に応じて継続的な
支援が可能

専門家派遣費用
を支援
(謝金1/2・旅費※)

※基準の範囲内

専門家を活用しやすい
費用負担

セミナー・講演等
での活用も可能

今年度より対象範囲を拡充

※地域課題解決に向けたセミナー等
で、助言等も合わせて行う場合

こんなお悩みはありませんか？



DMOの運
営体制や方
向性を見直
したい



データを活
用した観光
戦略を作り
たい



財源確保や
組織基盤を
強化したい



地域の合意形
成を進めたい



地域資源を活
かした商品
を作りたい



二次交通や
周遊を改善
したい



宿泊施設や
受入環境を
強化したい



WEB・SNSを
活用したい

利用の流れ

派遣要請

課題や相談
内容を提出



ヒアリング

課題や目的を
確認・整理



専門家との
マッチング

課題に合う専門家を選定
(登録専門家リストより)



派遣

課題解決に
向けて助言

詳細はこちら

- ・事業概要
- ・登録専門家一覧
- ・派遣要請様式

観光庁 専門家派遣



専門家に要請できる分野(全18分野)

地域の観光を担う組織の設立・運営



※DMO等…DMO、観光協会、第三セクター等

- ①DMO等の組織経営
- ②DMO等の財源確保
- ③DMO等の人材育成・採用



観光地経営の調査・戦略策定

- ④データ収集ツールの導入
- ⑤各種データの収集・整理・効果検証
- ⑥観光戦略策定
- ⑦事業者や住民等の理解・参画促進



滞在コンテンツの充実

- ⑧観光資源の抽出
- ⑨滞在コンテンツ造成(自然・文化・食・スポーツ等)
- ⑩販路開拓・拡大
- ⑪名産品開発



受入環境整備

- ⑫時間的・場所的分散及び周遊範囲の拡大
- ⑬二次交通・観光案内の改善・マナー啓発
- ⑭観光施設運営(宿泊施設・体験施設・観光案内所等)
- ⑮観光人材育成(宿泊施設・体験施設・観光案内所・ランドオペレーター・ガイド等)
- ⑯サービス品質保証



情報発信・プロモーション

- ⑰WEB・SNSの活用
- ⑱その他情報発信・プロモーション

派遣事例

活用事例1

⑥観光戦略策定

課題

観光客増加の好機を前に、目指す姿やターゲットが明確でなかった。

成果

観光アクションプランを策定。ターゲット別の施策を整理し、戦略的な観光振興を推進。

活用事例2

⑨滞在コンテンツ造成

課題

夏季誘客を強化し、通年観光や高付加価値化を実現したい。

成果

地域のストーリーを活かした体験商品の造成や販売体制の構築、ガイド育成に向けた取組を開始。

活用事例3

⑰WEB・SNSの活用

課題

観光情報を発信しているが、データに基づく戦略が不足していた。

成果

WEB・SNS活用検討会議を実施し、媒体の集約やデータ分析を踏まえた戦略検討を開始。

こんな地域・団体におすすめです

- ✓DMO等の組織運営や人材育成を強化したい
- ✓データを活用した観光戦略や計画を策定したい
- ✓地域資源を活かした商品やコンテンツを開発したい
- ✓販路拡大や地域ブランドの向上を図りたい
- ✓二次交通や観光施設など受入環境を改善したい
- ✓WEB・SNS等を活用した情報発信を強化したい

お問い合わせ先

令和8年度DMO総合支援(広域連携観光促進)のための専門家派遣事業事務局
株式会社ケー・シー・エス 【受付時間】10:00~17:00
【メール】senmonka_haken@kcsweb.co.jp 【電話】090-7382-2931
(本事業の担当 観光庁 観光地域振興課 広域連携推進室)



観光地経営戦略策定における 「観光庁 専門家派遣事業」活用について

提案日 | 2026年7月17日

なぜ「観光庁 専門家派遣事業」を活用するのか？

1 【戦略をより良いものにするために】

- ・皆様からいただいた大切なご意見やアドバイスを、戦略にしっかりと反映させていきたい
- ・他地域での成功事例をふまえた客観的な意見も取り入れたい
- ・戦略を実際に実行し、継続できるものにしたい

2 【専門家をなぜ呼ぶのか】

- ・戦略をさらに質の高い実効性のあるものにしたい
- ・客観的な視点を取り入れ、多角的なアドバイスをいただきたい
- ・策定に向けた作業を、スムーズに効率良くすすめたい

3 【専門家を招くメリット】

- ・国の費用支援により、自己負担を最小限に抑える。（謝礼 1時間4,200円）
- ・他地域での成功事例をベースにした意見を取り入れられる
- ・専門家のノウハウと経験を生かして、一段上の戦略を構築できる

※各団体から提出された事前確認書の内容を整理し、観光地経営戦略策定に向けた基礎資料として活用するための様式です。

No.	分野	団体名	①課題・変化	②把握したい情報・データ	③連携したいこと・協力希望
1	地域団体	一般社団法人郡山市観光協会	・郊外の観光地への二次交通が少ない（西田、熱海等） ・外国人観光客から観光タクシーの問合せがあったが、観光タクシープランのあるタクシー会社で英語対応をできる会社がなく、観光自体を諦めるケースが何度かあった。 ・バスの案内やパンフレット等の紙媒体で多言語に対応しているものが少ない ・協会実施主体となって観光コンテンツ等を企画・整備する予算がない	観光地経営戦略で、どのように取得するか記載が必要な以下項目。 ・住民満足度 ・観光事業者の平均給与額	・来訪者の満足度等についての「観光動向消費調査」（アンケート）をより多くの来訪者に回答してもらえるように、チラシの配架・配布を協力してほしい ・現場での課題や来訪者のニーズ・郡山の強みと思われる部分を共有していただききたい
2	地域団体	一般社団法人磐梯熱海温泉観光協会	・慢性的な人出不足 ・二次交通 ・近隣の絶対的な観光スポット	・来訪者の居住地（県・地区・国など） ・価格帯別宿泊人数（無理だと思いますが…） ・来訪の目的 ・イベント開催時の宿泊動向 ・来訪時の交通手段	・イベント開催時の積極的な協力体制の確立 ・他団体開催イベントの情報共有（その情報をもとに連携依頼が出来る可能性）
3	商業	郡山商工会議所	外国人の来訪者が徐々に増えているように感じるが、多言語対応などがまだまだ不十分かと思います。	郡山駅周辺エリアへの来訪者の居住地・年代・目的など	台湾の旅行関係先との連携による郡山の観光振興
4	交通	東日本旅客鉄道株式会社 福島事業本部	福島県内はエリアごとに特色ある観光資源を有している一方、広域的な周遊や流動の実態把握が課題と認識している。	・首都圏からの来訪者および県内周遊客の移動ルート・滞在時間・利用交通手段。 ・教育旅行やインバウンド旅行者の来訪傾向、旅行目的、満足度。	・地域の観光資源やイベント情報に関する相互発信。 ・来訪者の利便性向上に向けた関係団体との情報交換。
5	交通	福島交通株式会社 郡山支社	乗務員不足が深刻であり、観光需要に限らず、バス路線NWの現状維持ですら困難。路線バスへ乗務員を割いているため、貸切バスの稼働が出来ない。	来訪の目的 移動手段の選択肢(バス？タクシー？) 移動に対する支払額の上限值	観光客の交通手段を路線バスとした、観光パック商品造成
6	交通	郡山地区ハイヤータクシー協同組合	観光客の伸び悩み等による輸送需要の減少に加え、乗務員（タクシードライバー）の不足、また人員不足に伴う乗務員の高齢化に歯止めがかからず、運行管理等の充実・強化が課題となっている。	特になし	けんしん郡山文化センターで開催された「ポケモン天文台」、郡山市美術館において開催された「北斎・広重 大浮世絵展」等の企画展等に、イベント定額運賃の適用依頼があったが、物理的問題等により利用者保護に十分な対策が講じられないことがあったため、今後企画団体等と十分に検討し協力したい。但し、イベント定額運賃の適用については、組合員(タクシー会社)の協力と組合員毎にイベント定額運賃に係る運輸局への申請があるためご承知願いたい。

No.	分野	団体名	①課題・変化	②把握したい情報・データ	③連携したいこと・協力希望
7	商業	郡山地区商工会 広域協議会	・市内の各商工会は地域の賑わいづくり等を目的に大小イベントを主体的に実施しているが、観光コンテンツとした観点で考えると会場・交通・スタッフ、そして資金の確保が課題です。商工会の主となる事業は事業者の相談に応じることです。観光が個の嗜好に合わせる傾向が強まっているなかで、飲食や食関連専門店、生産・工芸品などの事業者の付加価値向上が課題となっており、その点は個の観光コンテンツの課題に繋がると考えています。 ・嗜好性の高い観光コンテンツの情報発信は重要だと考えているが、取り組む人材、体制が弱く、情報発信については専門の人材・組織が必要だと考えています。	来訪者のインサイト(内面の本質的部分)情報、つまり来店者のインサイト情報を得る手段を見つけたいと考えています。	情報発信の分野で他団体や他地域、関係機関に支援を求めたいと考えています。
8	宿泊	郡山ホテル協会	・ホテルの人材不足、人出不足 ・タクシーの不足 ・路線バスのわかりずらさ ・学会・大会・イベント主催者への勧め、アドバイスのバラつき ・この地域のDMO人材確保による持続可能性	・他地域のDMOとの比較を分析した結果	・DMO人材確保、育成に関する問題点の洗い出し、改善策の共有
9	宿泊	郡山市旅館ホテル組合	ビジネスユース層の動向については、現在市内に於いて建築関係が活発に動いている影響から宿泊需要も高い状況となっております。ただ、レジャーユースについては非常に厳しい状況であると断言せざるを得ない状況であります。またインバウンドについて今年度当組合にて実施した台北教育関係者とのヒヤリング調査でも福島県に行く魅力を感じていない発言があり、郡山市としては福島県のハブ都市としての特色をもっと有効に活用する商品作成が必要に感じております。	既にリーサス公表されているデータを見ればある程度分かるようになっており便利になっていると感じます。ただDMOの方向性としては間違えているかと思われますが、デジタルデータに出ない気持ちの部分のアンケートデータが今後必要になるのではないかと考えております。それは我々宿泊業を例にとれば不満に感じた部分や必要に感じた部分といった声のところであります。それをうまく具合にデータ化してまとめたら市にとっても有益ではないかと感じます。	郡山駅をハブ地点として作成する周遊企画は郡山の特性を活かせるものであると感じます。
10	飲食	郡山飲食業組合	週末に駅前周辺で飲食を楽しんで、いざ帰ろうとした時に、 <u>タクシー</u> や <u>運転代行</u> が来なく帰宅難民化している。特に、土曜日や連休が続く時の午後10時以降は帰る方が集中して、皆さん帰宅に苦労している状況。出来得るなら、官民協力のもと神戸で実施しているシティーループのような循環型バスを午前0時までを目安に運行していただきたい。	郡山広域圏の中で、特に三春方面への観光客の動向を知りたい	郡山から僅かな時間で訪れることができる三春町にスポットを当て、城下町としての魅力を感じる史跡や神社仏閣を巡るコースを設定することで、現在、会津若松を中心とした観光コースから郡山を拠点とした三春町観光コースにシフトさせたい。 そのためにも、今後は三春町との観光連携を模索すべきと思料いたします。
11	地域団体	公益財団法人郡山コンベンションビューロー	特になし	特になし	特になし
12	飲食	郡山美味しい街づくり推進協議会	交通手段（タクシーがなかなかつかまらないなど）	特になし	特になし
13	観光施設	公益財団法人郡山市観光交流振興公社	SNS等で情報発信しているが、インスタグラムやLINEでのアクセスが増えているが、Xやフェイスブックは伸び悩んでいる。	来訪目的や来訪者の居住地や年代を把握し、PRに活用したい。	特になし

No.	分野	団体名	①課題・変化	②把握したい情報・データ	③連携したいこと・協力希望
14	農業	福島さくら農業協同組合 郡山統括センター	特になし	特になし	現在特に考えておりません
15	観光施設	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社	・先日まで開催していた「ポケモン天文台」に多くの外国人観光客が見られた。会場までの案内に苦慮する場面が見受けられたため、多言語対応が課題 ・近隣施設でイベント等が重なった場合の来館者が停める車の駐車場不足および駐車場・交通などの混雑情報の発信 ・けんしん郡山文化センターでは、近年郡山市高齢者健康長寿サポート事業のサポート券利用者が増加したと思われる。	・来訪目的（個人・市民団体・企業ごとに） ・他都市の来訪者向けのPR方法及び実績（SNSやパンフ、他団体との連携など）	・情報発信
16	地域団体	特定非営利活動法人 まざっせ KORIYAMA	特になし	特になし	特になし
17	飲食	郡山酒造協同組合	交通手段（飲酒を含むため） 多言語対応（インバウンド対応）	来訪目的 交通手段	周遊企画 イベント連携
18	行政	福島県県中地方振興局企画商工部	旅行商品の充実化（国内向け及びインバウンド向け）、広域的な受け入れ体制づくり、教育旅行や企業研修等の受け入れ体制づくり、旅行商品の営業活動等を強化すべきと感じる。	来訪者の居住地、年代、宿泊数、宿泊先、旅行形態（ツアーor 個人）及び旅行目的	受け入れ体制づくり、観光PRイベント、通年での情報発信などについて、県中管内の市町村や関係団体と連携した取組に積極的に加わりたい。
19	行政	郡山市文化振興課	特になし	特になし	当課では、ふくしまデスティネーションキャンペーン特別企画として、本年5月24日日曜日に「風に乗った音色が駅に響く～郡山市 × 100万人のクラシックライブ～ホールコンサート in JR郡山駅」と題し、JR郡山駅様の御協力のもと、JR郡山駅1階お土産館前の特設ステージにおいて、本市出身の若手音楽家等による演奏や郡山女子大学附属高等学校書道部によるパフォーマンスを演目とする「第149回ホールコンサート」を開催し、観光客を含む多くの駅利用者の皆様に駅構内に響く美しい音色をお楽しみいただきました。 今後とも「音楽都市こおりやま」として、身近な場所で、気軽に音楽を楽しめる機会を創出して参りますので、引き続き、ご協力をお願いいたします。
20	行政	郡山市スポーツ振興課	特になし	特になし	本市は交通の便が良く、毎年、市内体育施設において、東北ブロック大会や全国大会等の大規模スポーツ大会が多く開催されており、また、関東地域などからの大学の合宿に来郡いただくなど、スポーツを通したにぎわいづくりに高い可能性のある街であります。さらに、福島ファイヤーボンズや福島エアービーズなどのプロスポーツチームの活躍により全国各地から多くの方々が本市を訪れてようになっております。このため、関係団体の皆様と連携しながら魅力を発信することで、更なるにぎわいの効果が期待できると考えております。

No.	分野	団体名	①課題・変化	②把握したい情報・データ	③連携したいこと・協力希望
21	行政	郡山市観光政策課	観光都市としてのイメージ醸成	・団体旅行のインバウンド受入対応可能な飲食店	企画展をはじめとするイベントにおいて、他団体や他地域との連携を強化し、観光誘客と回遊促進による地域の活性化と経済の好循環の創出を図り、観光により人や地域がつながる効果的な取組みについて協力を求めたい。
22	行政	郡山市農業政策課	・農家民泊は高齢化により数件のみとなっている ・いなか体験（アウトドア体験・そば打ちなど）の需要は高いが、受入側の体制が弱く、イベント的であり、コンテンツとしての運用は難しい。	・来訪目的（居住地別・年代別） ・来訪した（する）地	・商品造成、情報発信
23	行政	郡山市農業生産流通課	農水産物（あさか舞・梨・曲がりネギ・鯉など）の情報発信やブランドづくりの強化	▶ 本市農水産物に関する情報・各種データ 郡山市を訪れた方の「食」に関するデータ（品目別やリピーターのケースなど） ▶ 「食」に関するデジタルマーケティング・情報発信状況 ウェブサイトやSNSのアクセス解析（訪問者数、滞在時間、反応率など）	▶ 郡山産米「あさか舞」の広域的販売促進事業 販促PRイベント（首都圏・関西圏等）の実施・プロモーション動画の活用 ▶ 農産物等首都圏等魅力発信業務 季節の農産物を詰め合わせたセット商品を産直ECサイトで販売 ▶ 観光施設イベントとの連携 石筴ふれあい牧場やふくしま逢瀬ワイナリーなど農業観光施設イベントとの連携